



会報

社団法人
兵庫県電業協会



2012.1.No.31

目次

1	あいさつ	
	(1) 会長挨拶	1
	(2) 兵庫県知事挨拶	2
	(3) 神戸市長挨拶	3
	(4) 兵庫県まちづくり部長挨拶	4
	(5) 山口顧問(兵庫県議会議員)挨拶	5
	(6) 高田顧問(元神戸市会議員)挨拶	6
2	特集	
	(1) AC/DCハイブリッド配線システムおよびスマートグリッドとHEMSについて	7
	(2) クラウドとスマート	10
3	施設紹介	
	(1) 兵庫県中央労働センター	12
	(2) 神戸市危機管理センター	16
4	技術報告(三菱電機の「スマート電化」)	22
5	会議	
	(1) 通常総会	26
	(2) 理事会・委員会	28
6	事業報告1(総務委員会関係)	
	(1) 行政懇談会	31
	(2) 地区懇談会	38
	(3) 行政機関への協会活動PR	40
	(4) 永年勤続優良従業員表彰	42
7	事業報告2(技術・安全委員会関係)	
	(1) 技術講習会	43
	(2) 施設見学会	44
	(3) 1級電気工事施工管理技術検定受験対策講習会	45
	(4) 安全衛生推進大会	46
	(5) こども110番の車パトロール事業	49
	(6) 暴力団追放対策講習会	50
8	事業報告3(経営委員会関係)	
	(1) インターンシップの受け入れ	51
	(2) 高校生ものづくりコンテスト審査員の派遣	55
	(3) 経営講演会&県有施設設計講習会	56
	(4) 経営事項審査改正点の説明会	57
	(5) 県管理河川等公共施設愛護活動	58
	(6) コウノトリ翔る但馬まるごと感動市への参加	59
9	3委員会の24年度の主な取り組み	60
10	部会・同好会活動	
	(1) 青年部会のページ(青年部会員名簿)	61
	(2) 新生のじぎく会だより	66
11	一般社団法人日本電設工業協会の動き	67
12	兵庫県の入札・契約制度	68
13	協会の動き	
	(1) 受賞おめでとうございます	70
	(2) 会務日誌	72
	(3) 協会役員名簿	76
	(4) 会員(正会員・賛助会員)名簿	77
14	編集後記	89

表紙写真「丹波古陶館」(兵庫県篠山市)

丹波古陶館は、江戸時代そのままの姿で「妻入(つまいり)商家」が立ち並ぶ河原町通(国重要伝統的建造物群保存地区)の一角に、丹波焼の創世期から江戸時代末期に至る700年間に作られた代表的な壺、桶、徳利など、歴史的に貴重な作品を数多く展示しています。

新年ご挨拶

社団法人 兵庫県電業協会

会長 西 村 善 明



明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

会員並びに兵庫県を始め関係機関の皆さまには、平素より当協会の運営に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年は1,000年に1度といわれる東日本大震災やその直後の津波による福島第一原子力発電所の事故が発生するなど大変悲惨な1年でした。当協会としまして、東日本大震災の被災者を支援するため、兵庫県及び日電協を通じて150万円の義援金を贈呈させて頂きました。1日も早い被災地の復旧・復興を祈念しているところです。

現在、我が国は、デフレと円高、更にそれに加えて株価の低迷という厳しい経済状況に直面しており、産業の空洞化が懸念されるなど電気設備業界を取り巻く環境も厳しい状況が続いています。また、ギリシャに端を発した欧州の金融・財政危機は拡大の一途であり、信用不安が深刻化しています。産業、経済の活性化、とりわけ地域の活性化のためにも、今こそ政治の力強いリーダーシップが必要であり、強力な指導力を発揮されるよう強く期待するところであります。

さて本年は、公益法人制度改革に係る法施行から4年目となりました。

昨年5月の第57回通常総会において、当協会は一般社団法人へ移行することを正式に決定し、現在、平成24年度中の移行認可を目指し鋭意取り組んでいるところです。今後、関係機関との協議を経て、円滑な移行を進めてまいりたいと考えています。

一般社団法人となりましても、当協会は、県下全域を対象に事業展開する団体であり、地域社会に貢献する団体として求心力と存在感をこれまで以上に高めていきたいと考えています。そのためにも、協会事業の更なる充実に全力を挙げて取り組んでまいりますので会員各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が当協会にとりまして飛躍の年となりますとともに、皆様方のご健勝、ご繁栄を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

～創造と共生の 舞台づくり～

兵庫県知事

井戸敏三



平成24年新春のご挨拶を申し上げます。

9ヶ月前の東日本大震災は、全国に大きな影響を及ぼしました。被災地は、ようやく復旧復興のスタートを切りました。17年前、阪神・淡路大震災を経験した私たちだけに、これまで同様、これからもできる支援を続けていきましょう。20年になるデフレ経済、円高の長期化など経済社会にも不透明感が広がっています。また、兵庫も人口減少社会に突入しました。しかも、高齢化、少子化、地域格差の拡大を伴っています。今だからこそ、将来不安のない社会的枠組を再構築し、あわせて地域個性が発揮される元気な地域づくりを進めなければなりません。21世紀兵庫長期ビジョンが見直されました。めざす将来像は、「創造と共生の舞台・兵庫」です。今こそビジョン、高い目標をもち、これをめざして、ともに兵庫の未来を拓きましょう。

第1は、安全安心の基盤づくり。東海・東南海・南海地震や、頻発する風水害への備えに万全を期すとともに、医療、健康、福祉、食など、安心基盤を確保します。

第2は、質の高い生活づくり。若者の自立を応援し、出会い、子育て支援を進めます。地域づくり活動を広げ、誰もが暮らしやすい社会をつくります。エネルギー供給の多様化も見据えた再生可能エネルギーの活用など自然と調和した生活を拡大します。

第3は、新時代の経済社会づくり。緊急経済・雇用対策を講じつつ、先端科学技術基盤などの兵庫の強みを生かし、競争力を高め、新たな成長産業を振興します。また、TPP協定の議論を注視し、強い兵庫の「農」を育てます。

第4は、地域の元気づくり。都市と農村との交流、地域再生大作戦のさらなる展開、交流と連携を支える社会基盤の整備を進めます。国出先機関の丸ごと移管など、正念場を迎える分権改革に、関西広域連合一丸となって取り組みます。

これからも、自立と連帯、安心と活力、継承と創造を基本に、明日の兵庫を築いていこうではありませんか。

夢を持ち 夢を求める 地域こそ 我が郷土で あるであれかし

2012年 市長新年あいさつ

神戸市長

矢田 立 郎



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より神戸市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、昨年、2025年のまちの姿を見すえた「第5次神戸市基本計画」として、将来に向けたこれからのまちづくりの長期的な方向性を示す「神戸づくりの指針」ならびに2015年度を目標年次とする実行計画「神戸2015ビジョン」を策定し、基本計画の取り組みを下支えする「神戸市行財政改革2015」をあわせて策定いたしました。少子超高齢化の急激な進行やグローバル化が進むにつれて、仕事をとりまく環境にも影響が現れてきています。このような時代の変化に対応していくためには、これまでの取り組みを生かしつつ、人と人との絆を活かし「ひと」を「たから」として新たな豊かさをともに創造する『協創』の理念により、皆さまと力を合わせて、明日の神戸をより豊かで魅力あるまちにしていくことが重要であると考えています。

今年で阪神・淡路大震災から17年を迎えます。また、昨年の東日本大震災では非常に広い範囲に甚大な被害が及びました。我われは阪神・淡路大震災の経験・教訓と被災地への支援に取り組む中での経験を活かし、さらに災害に強く安全な都市づくりを進めていかなければなりません。

このような中、皆さまのご協力を頂きながら取り組んでまいりました、学校の耐震化については、今年度末にはすべてを完了する予定です。今後はその他の公共施設においても、平成27年度末までに耐震化率100%を目指して継続的に取り組んでまいります。

また、地球温暖化防止の取り組みとして、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を減らすため、私たちのライフスタイルをはじめ都市の構造、産業のあり方にも変化が求められています。本市においても、既に地域グリーンニューディール基金を活用した、公共施設での太陽光発電設備の導入などについても取り組んできているところですが、今後もさまざまな機会を捉えて、再生可能エネルギーの率先的な導入や省エネルギー改修に努め、自然共生社会、循環型社会に向けた取り組みを進めてまいります。

このような時代の変化に対応した取り組みなど、「住みよい環境」を育てるために大きく貢献いただいている皆さま方の活動に対して、あらためて敬意を表しますとともに、今後もその知恵と力をお貸しいただけますようお願い致します。

最後になりましたが、貴協会のご発展と会員の皆さま方のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成24年 新年ご挨拶

兵庫県まちづくり部長

川 端 宏 幸



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、兵庫県政、とりわけまちづくり行政の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、想定をはるかに超えた津波により未曾有の被害をもたらしました。被災地の復旧・復興は、まだ始まったばかりですが、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県として地震発生直後から「復興まちづくり」の推進に向けた提案、応急仮設住宅の建設支援など積極的な支援を行ってきたところです。

一方、今回の大震災は、様々な教訓を我々に与えました。兵庫県では今世紀前半にも発生が懸念される東南海・南海地震に対し、これまでの想定を見直し、迅速に必要な対策に取り組まなければなりません。

このため、引きつづき、安全・安心なまちづくりに向け、わが家の耐震改修促進事業など民間住宅の耐震化を推進するとともに、新たに緊急輸送路を確保するための沿道建築物の耐震化や津波避難ビルを確保するための屋外階段等の設置推進など建築物の安全・安心対策を推進して参ります。

あわせて、地球環境問題、エネルギー問題への対応も必要です。住宅をはじめ、建築物の整備・管理において省エネ、省CO₂の取り組みや太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入が求められています。

このため、県有施設の整備においては、太陽光発電等の再生可能エネルギー導入、敷地・建物緑化、LED照明器具の採用、節水型設備の活用など環境負荷の低減化を引きつづき推進して参ります。

また、人口減少・少子高齢社会の到来や東日本大震災の教訓も踏まえ、住生活基本計画を改正しました。この計画に基づき県民がそれぞれのライフスタイルやライフステージに応じた豊かな生活を享受できるよう良好な住宅ストックの形成と既存ストックの有効な活用による総合的な住宅施策を展開し快適な住まいづくりを推進して参ります。

今後とも、直面する課題をしっかりと捉え「元気で安全安心な兵庫のまちづくり」をめざしてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって充実した素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

兵庫県議会議員

山口 信 行

(当協会顧問)



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いでお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は協会設立30周年の節目の年でもあります。重ねて心からお祝い申し上げます。

私、去る7月16日の第58回県連大会において自民党兵庫県連の幹事長に選出され、5か月が過ぎました。この間、県連の運営に携わるとともに、兵庫県の経済の発展、活性化や住民福祉の向上に取り組んでまいりました。平素から皆様には格別のご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

また、昨年11月から協会顧問を務めさせていただいています。有り難うございます。

顧問就任につきましては、会長の西村様から是非にとの就任依頼がありまして、顧問の大役をお引き受けさせて頂きました。皆様の業界が、今後ますますご発展しますよう、微力ではありますが、かねてより協会挙げてお取り組み中である分離発注の推進等の課題についてご協力いたす所存であります。

昨年は、東日本大震災や原子力発電の事故に加え、経済的にはギリシャに端を発した欧州の金融危機の世界的な信用不安の拡大・深刻化、さらに政治的には、隣の大阪において大阪府知事、大阪市長のトップの座を、地域政党である大阪維新の会が制するといったことに見られるように大混乱の1年でした。

本年は、この混乱を乗り越え新たな出発の年にしたいものです。夢と希望と自信を持って進もうではありませんか。業界の皆様にとりまして、本年が明るい希望のもてる年となりますよう願ってやみません。

最後に、協会の発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年ごあいさつ

元神戸市会議員

高 田 巖

(当協会顧問)



あけまして、おめでとうございます。

ご家族のみなさん、従業員のみなさん、ともども健やかに、新春をお迎えのこととおよろこび申し上げます。

昨年中は、公私に亘り大変お世話になりました。本年も変わらぬご厚誼の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、企業を取り巻く現状は、大変厳しい環境にあります。リーマンショック以来の超長期の景気低迷、ヨーロッパ、ユーロ圏の金融危機、加えての異常な円高、さらに東北地方の大震災、津波、原発事故、近畿南部の台風等々の自然災害、これらがもたらす雇用不安や生活不安など、厳しい社会情勢の中にあります。

こんなときこそ、協会は一致団結し、事業を守り、業界を守り、共存共栄のため、その役割を果たさねばなりません。会員みなさんの協会に対する支えあいと、役員みなさんの強いリーダーシップを期待しております。

今回の東北災害時には、いち早く義援金を贈呈し被災者の支援に立ち上がられたとも聞きます。深い敬意を表します。

一方、大震災では、津波等への防災対策の再認識をさせられる、悲しいが貴重な教訓を得させられました。本県においても、再度チェックする必要があるかと思えます。設備関係などでも現状で大丈夫であるのか、関係ご当局とも協力し、知恵を出し合い、安全で安心なまちづくりに寄与したいものです。私も大変微力ではありますが、協会、業界発展のため、力を注ぎたい所存であります。

だが一方で明るいニュースもありました。

昨年は神戸が本拠地のメンバーを主体とする“なでしこジャパン”が女子サッカーで世界制覇を成しとげました。大相撲では、久しぶりに日本人大関、琴奨菊と稀勢の里が誕生しました。当協会でも昨秋には、副会長の平井伸幸ミナト電気工事(株)社長さんが黄綬褒章受章の栄に輝かれました。誠におめでたいことでありました。

本年もまたきっとこんな喜ばしい、明るい出来事もあることでしょう。

上を向いて、前に向かって、スクラムを組んでしっかりと歩きましょう。

協会、業界と各企業さま、ご尊家の万福をお祝いして、新年のごあいさつといたします。

AC/DCハイブリッド配線システムおよびスマートグリッドとHEMSについて

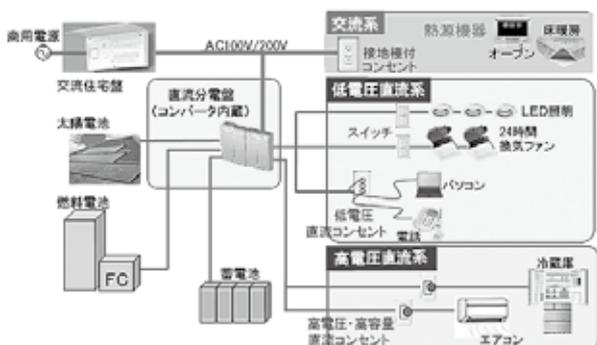
パナソニック株式会社

再生可能エネルギー特別措置法案が2011年8月26日に可決したことにより、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーを一定の期間、電力会社が買い取ることを義務付けた全量買取制度が2012年7月より施行となります。これに伴い、今後ますます需要が高まると推察されるAC/DCハイブリッド配線システムおよびスマートグリッドとHEMSについてご紹介します。

◆AC/DCハイブリッド配線システム

家庭内ではLED照明器具や換気扇、デジタル家電製品など本来直流で駆動することができるものの、交流で駆動している電気設備が増えています。そのような中、太陽光発電システムの採用が増加し、直流電力を利用しやすい状況になってきています。AC/DCハイブリッド配線システムは電力会社から送電される交流電力と太陽光発電システムや燃料電池などで“創られる”直流電力を効率よく配電するシステムです。家庭内に直流電力も供給することで、交流電力を直流へ変換して使用しているLED照明器具や換気扇などの電力効率が高まります。

AC/DCハイブリッド配線のイメージ



(メリット)

- 1：直流～交流の変換ロスをなくすことで家全体からみると5～10%の省エネ効果が見込めます
- 2：ACアダプタ不要のため配線がすっきりします
- 3：直流対応製品の小型化が可能

(課題)

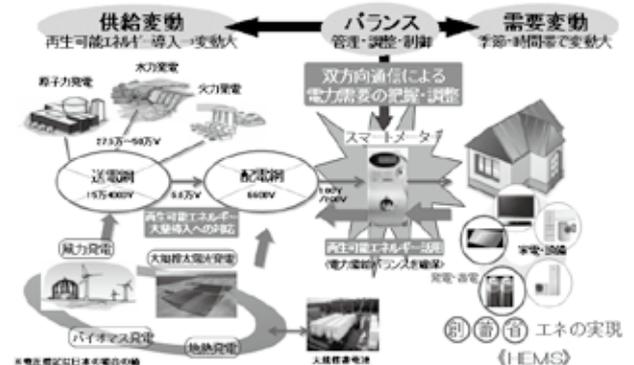
- 1：直流電圧を使用するための規格化
- 2：直流コンセントの技術開発と規格化
- 3：家電機器の直流入力化推進

◆スマートグリッド

再生可能エネルギー導入の機運が高まる一方で、現在の電力供給網では電力系統へ送り出す電力（逆潮流）による課題があります。例えば再生可能エネルギーが短時間で大量に電力系統へ接続されると、電圧変動により売電ができなくなったり、周波数変動により大停電を引き起こす可能性があります。

この課題を解決するために注目を浴びているのがスマートグリッド（賢い送電網）です。スマートグリッドは情報技術を使うことで電力の流れを制御することが可能となります。

スマートグリッドのイメージ



家庭や工場など、建物の入口には通信機能をもちあわせた電力計（スマートメーター）を設置し、電線や通信回線経由で電力の使用状況を遠隔から確認することが可能となります。また、電力の使用量にあわせて自動的に発電量や蓄電量を最適に調整することも可能となります。

送電網をスマートグリッド化することで

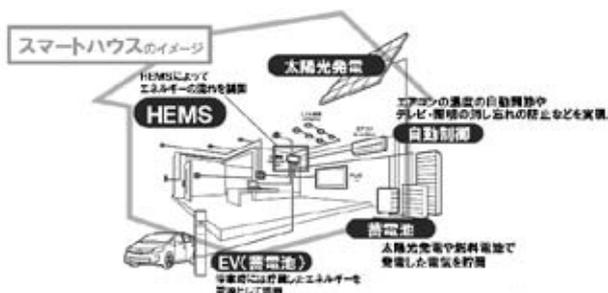
1. ピークシフトによる電力設備の有効活用
2. 再生可能エネルギーの大量導入
3. 停電対策

を実現することが可能となります。

◆HEMSとスマートハウス

HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）とは、家電機器などの最適運転や、エネルギーの使用状況をリアルタイムで表示するなど、情報技術を活用して家庭のエネルギー管理を支援するシステムです。HEMSを導入することで創エネ・蓄エネ・省エネを家庭や送電網の電力の使用状況に応じて賢く制御することが可能となります。

スマートハウスとはHEMSもしくはエネルギーが見える化した設備を導入した住宅のことを指します。節電、省エネ意識の高まりにより住宅会社や工務店でのスマートハウスの取組みが進んでおります。



◆スマートタウンについて

HEMSを導入したスマートハウスを町全体に展開する計画をスマートタウンと呼びます。神奈川県藤沢市の「Fujisawa サスティナブル・スマートタウン構想」では2013年度に1,000世帯規模の街開き

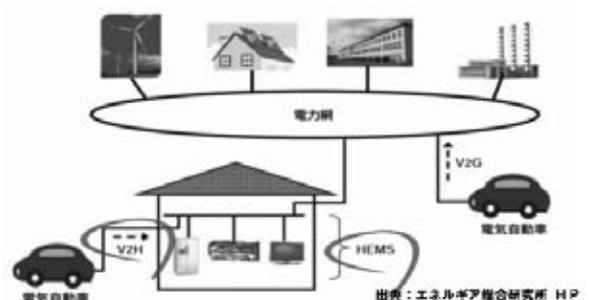
を目指し、くらしのエコアイデアを活かしたサービスやエネルギー機器の導入による、スマートタウンならではの新しい街づくりを計画しています。「エネルギー」に「安心・安全」を加えた省エネ機器を採用し、創エネ・蓄エネ・省エネの新提案でエネルギー利用の先進モデルを創り上げる予定です。また全戸に太陽光発電システムと家庭用蓄電池の導入を予定しており、非常時の電源供給を町ぐるみでカバーできる仕組みが構築されます。



◆今後のスマートグリッドとHEMS

電気自動車（EV）に搭載された蓄電池から住戸に電力を供給するV2H（Vehicle To Home）、電力網に電力を供給するV2G（Vehicle To Grid）の展開に加え、白物家電を中心とした家電設備との連携により、無理をしないで快適にエコ生活ができるようなサポート機能についてもメーカーで検討が進められており、電力の地産地消化に向けた商品開発が加速していくと考えられます。

V2HとV2Gのイメージ



◆今後の展開について

パナソニックでは、創・蓄連携エネマネシステム（※）を戸建市場に投入する予定で商品開発をすすめております。

※創（太陽光発電）、蓄（蓄電池）、エネマネ（エネルギーマネジメントシステム）この創・蓄連携エネマネシステムの主な特長を3点ご紹介します。

- ① 「停電時」「災害時」に特定回路のバックアップが可能
- ② 太陽光発電の余剰電力を蓄電池に充電可能
- ③ 高容量で小型のリチウムイオン蓄電池で屋内設置場所の確保が容易

また環境配慮型街づくりとし、神奈川県藤沢市の「Fujisawa サスティナブル・スマートタウン構想」で2013年度街びらきを目指しくらしのエコアイデアを活かしたサービスやエネルギー機器の導入によるスマートタウンならではの1,000世帯規模の新しい街づくりを計画しています。「エネルギー」に「安心・安全」を加えた省エネ機器の普及、創エネ、蓄エネ、エネマネの新提案で、エネルギー利用の先進モデルを創り上げる予定です。また全戸に太陽光発電システムと家庭用蓄電池を導入予定しております。

Panasonic
ideas for life

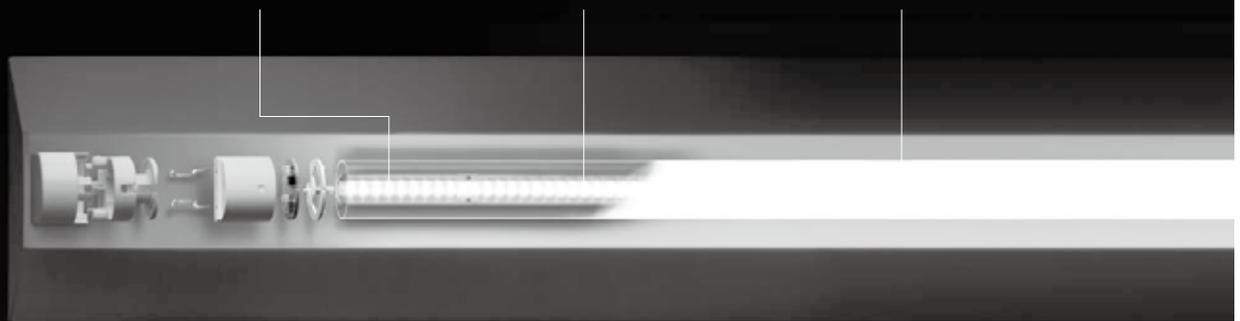
LEDの光に、かつてない美しさ。

粒々感が少なく、均一で美しい光を実現した直管形LEDランプ搭載ベースライトです。

色ムラやバラツキの少ない光

演色性(Ra)84

40,000時間の長寿命(光源)



革新LED

EVERLEDS

エバーレッズ

(社)日本電球工業会の性能規格(JEL規格[®])に準拠 ※JEL801:2010 L形ピンロ金GX16t-5付 直管形LEDランプシステム ©商品画像はイメージです。

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 近畿電材営業部 神戸電材営業所
〒650-0031 兵庫県神戸市中央区東町126 住友生命シルクセンタービル4階 TEL.078-333-1006

詳しくはホームページで
www2.panasonic.biz/es/everleds/

クラウドとスマート

前回 (No.30) の会報誌の特集記事に引き続き、今回もクラウドについて、考えてみたい。また、後半では、スマートという言葉がよく使われるが、すこし整理してみたい。

「クラウド」とは、ネットワークの向こう側に存在する ICTリソースを、ネットワーク経由で、必要な時に必要なだけすぐに利用できる形態のことで、クラウドコンピューティングと言われており、テレビや新聞などでほとんど毎日のように、見たり聞いたりする言葉だ。クラウドが注目される理由は、①コスト削減、②システムの柔軟性、③事業継続計画 (BCP) への貢献、の3つである。

ICT : (Information Communication Technology)

ICTリソース : (サーバ、ストレージ、OS、ソフトウェアなど)

BCP : (Business Continuity Plan)

クラウドでは、セキュリティ対策や、天災、停電によるシステム障害、データ損失に備えたバックアップなどの対策も講じられている。

皮肉ではないが、昨年3. 11の震災 (原子力災害) 後、クラウドという雲が、きのこ雲のように、モクモクと大きくなってきた。

また、雲は一つではなく、二つの雲に分かれて、予想を大きく上回るスピードで急速に発達している。

クラウドがどれぐらい普及してきたのか、少し数字で確認しておこう。2010年に、IDCジャパンが予測した市場規模は2012年が900億円、2014年が1500億円だったのに対し、2010年の実績が1646億円、2015年の予測は、9406億円となり、予測を大幅に上回るスピードで普及が進んでいる。震災や円高で加速したと言ってよいだろう。この数字は、先に話した、一つ目の雲のことで、二つ目の雲を合わせると数字はもっと膨らむのである。

クラウドは資産の利用法の観点から、プライベートクラウドという一つ目の雲と、パブリッククラウドという二つ目の雲とに分類される。

プライベートクラウドは、資産を専用する貸切バスを利用するようなものであるのに対し、パブリッククラウドは、資産を共用する公共交通機関を利用するようなものである。

スマートホンやタブレット端末の登場で、パブリッククラウドも急速に広がっている。

パソコンを一切介さずに、音楽や画像や映像をスマートホンで楽しむことができたり、グループウェアにもアクセスでき利用できたりする。TwitterやYouTubeもクラウドになっている。

建設業界の事例では、現場のタブレット (多機能携帯端末) に図面を配信し、工事の進捗状況などを把握し、内蔵のカメラで作業履歴や作業報告を行い、工事品質を高めるのに利用しようとしている。特に大規模な現場や高層ビルでは効率的だろう。

クラウド化の意味することは、所有しなくなること、すなわち、何でも借りる (使わせてもらう) ことを意味する。一時的にたくさんのお金を使わなくなることだ。所有するためのコストを削ることで、設備や人が要らなくなることだ。IT業界にとっては「痛し、痒し」と言ったところだろうか？

建設業関係にとっても、お客様の事業所や工場では、電算室やサーバ室、情報システム室などが不要になり、管理要員や、それに付随する設備も不要になる。大型のコンピューターやサーバなどに必要だった空調設備や電源電力設備も要らなくなる。喜んではいられまい。

IT大手などのクラウド事業者のデータセンターに集中するため、現場では、「人」が要らず、「もの」(建物や設備) が要らず、「金」もかからない、お金の動かない社会になる。住民税、所得税、固定資産税、消費税など、すべてが減るといふ、国や地方自治体にとっても喜ばない事態ではないか？

クラウドのリスクについても、確認しておく必要がある。1つ目は、ネットワーク障害が発生するとクラウドは利用できないという持続性に対するリスクがあり、2つ目は、クラウド事業者による人的ミ

スや事故、意図的な漏えいなどのセキュリティーリスクがあり、3つ目は、クラウド事業者のデータセンターの置かれた場所（国）による、カンントリーリスクがある。東京にデータセンターがあってもAmazonクラウドはアメリカのパトリオット法の対象で捜査のためサーバーが押収されることも考えられる。税務署や警察もクラウド事業者にデータの提供を求めることがある。クラウドを利用する業務もクラウド事業者もしっかり選んで使い分ける必要がある。

クラウドサービスを安心安全に利用するため、経済産業省も2011年4月に、「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン」を策定している。

スマートホンからのクラウド利用も増えているが、スマートホン向けのマルウェア（情報を漏えいするウイルスのようなソフトウェア）も確認されているので注意が必要だ。

スマートホン同様、最近、スマートという言葉をよく耳にする。スマートホン、スマートハウス、スマートシティ、スマートグリッド、スマートメーターなどスマートという言葉が聞かれるようになってきた。

スマートホン：iPhoneに代表されるインターネットにつながる携帯電話

スマートハウス：ハイブリッド車や太陽光発電、蓄電池、家電製品などをITを利用してエネルギーを最適にコントロールする

スマートシティ：太陽光発電などをITで管理する次世代送電線網を整備する環境配慮型都市

スマートグリッド：ITを活用し電力需給を調整制御する電力網

スマートメーター：通信機能や宅内機器の管理機能を持つ高機能電力メーター

いずれもスマートなのか複雑なのかよくわからない。本年もクラウドやスマートが社会を賑わすだろう。

クラウド化やスマート化は、我々の社会に大きな変革をもたらすことは間違いないだろう。今後の対応や経営戦略を考えさせられる。

合成の誤謬をもたらす、一億総貧乏時代いや世界総貧乏時代は絶対に避けたいものだ。

物理的に堅牢な社会を作るのが、建設業界であると期待され続けたいと思う。



兵庫県中央労働センター

兵庫県県土整備部住宅建築局設備課

新耐震基準を満たすため耐震化工事を実施するとともに、県庁周辺の貸館・会議室等の集約により、平成24年度末を目途に廃止予定となる産業会館に代わる施設として、中央労働センターを活用するため、老朽化（昭和51年度設置）による機能低下が著しい空調・電気設備等の改修工事を実施しました。また、環境負荷を軽減する取り組みの一つとして、太陽光発電設備を設置しました。



写真1 エントランスホール

1. 施設の概要

① 基本的な機能

本施設は映画会やピアノ・演奏会など多方面に活用できる大ホールを始め、各種会議・研修会、サークル活動等に活用できる会議室等を備えた施設として整備しました。また、一部の室は公共団体等の事務所として使用できるよう整備しています。

② 電気設備設計の基本方針

本施設の改修工事の設計にあたっては、Hf蛍光灯やLED照明等の高効率照明器具や、高効率変圧器の採用、太陽光発電設備の設置等により環境と省エネルギーに配慮しました。

2. 電気設備概要

① 受変電設備

地下1階の既設電気室のトランスを高効率の機種に更新し、省エネルギー化を図りました。

・変圧器：油入トッランナー

1φ3W6.6kV/210-105V 100kVA×2

3φ3W6.6kV/210V 75kVA×1

3φ3W6.6kV/210V 150kVA×1

3φ3W6.6kV/210V 200kVA×1



写真2 電気室

② 発電機設備

既設発電機を撤去し、150kVA ディーゼル発電機を設置しています。

③ 電灯設備

エントランスホールは無電極放電灯とLEDダウンライトにより、以前の暗い雰囲気を払拭するとともに、省エネルギー化を図っています。各室はHf 32W 2灯用蛍光灯器具、大ホールの調光用白熱ダウンライトはLED器具に更新、トイレについては人感センサーによる点灯制御を行うことにより、さらなる省エネルギー化を図っています。また、1階のエレベーターホールについてはLED照明を採用しました。

④ 動力設備

各分電盤より給水ポンプ・空調機等へ送電してい

ます。

⑤ 構内交換設備

既存の設置箇所にて使用できるよう空配管を対応しています。



写真3 大ホール



写真4 小ホール

⑥ 構内情報通信網設備

各事務室、会議室でインターネット等が使用できるよう空配管を設置しています。

⑦ テレビ共同受信設備

屋上にUHF及びBS/CSアンテナを設置し、各室の受口に分配しています。

⑧ 拡声設備

事務室兼受付に非常業務兼用アンプ(240W30回

線)を設置しています。

⑨ 映像音響設備

視聴覚教室及び大ホールに音響設備、各会議室にはローカルアンプ接続盤を設置しています。

⑩ 誘導支援設備

1、2階多機能トイレにトイレ呼出装置を設置しています。



写真5 402号 会議室

⑪ インターホン設備

エントランスの案内表示板に、カメラ付インターホンを設置しています。

⑫ 防災設備

事務室兼受付にP型1級受信機を設置し、自火報、防排煙及び設備異常等の諸警報を監視しています。

⑬ 太陽光発電設備

屋上に太陽光発電パネル(30kW)を設置するとともに、エントランスホールに情報表示装置を設置し、来館者に普及啓発を行っています。

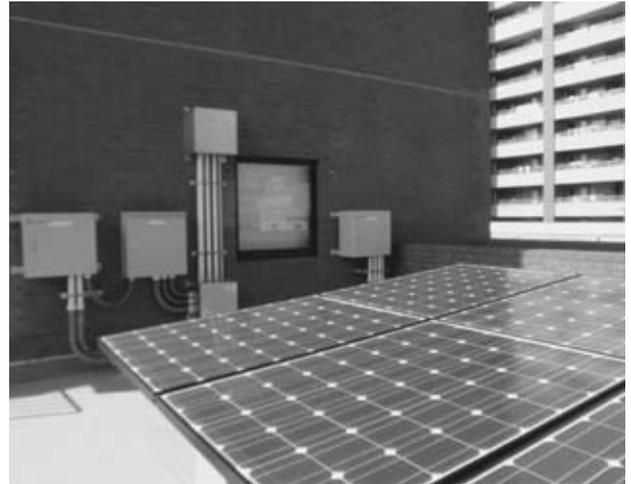


写真6 太陽光発電設備

⑭ 昇降機設備

既設エレベーターを、以下の2基に取替しています。

- ・1号機 : 乗用兼車椅子用
11人乗 60m/min 5停止
- ・2号機 : 乗用
11人乗 60m/min 5停止



写真7 エレベーターホール

3. 建築概要

所在地：神戸市中央区下山手通6丁目3番28号

主要用途：事務所（勤労福祉協会他）
各種会議・研修会への会場貸出

消防法別表：第15項

建築面積：1,764.62㎡
 延床面積：7,260.12㎡
 工事期間：平成22年7月～平成23年3月
 設計：兵庫県県土整備部住宅建築局
 営繕課・設備課
 (株)瀬戸本淳建築研究室
 監理：兵庫県県土整備部住宅建築局

営繕課・設備課
 建築：(株)中田工務店
 電気設備：(株)カデックス
 機械設備：(株)本庄商会
 ガス設備：大阪ガス(株)
 昇降機設備：三精輸送機(株)
 太陽光発電設備：(有)西村電工



H.264方式 壁掛型デジタルレコーダーシリーズ

デジタルレコーダー&液晶モニター&カメラドライブユニットを一体化!

省スペース!

&

高画質・
長時間録画!

カメラ
4台用



■壁掛型デジタルレコーダー-4局 500GB

C-DV044W5

オープン価格

500GB | カメラドライブユニット内蔵

15型液晶モニター | 音声記録 全系統

カメラ
8台用



■壁掛型デジタルレコーダー-8局 1TB

C-DV084W10

オープン価格

1TB | カメラドライブユニット内蔵

15型液晶モニター | 音声記録 全系統

カメラ
16台用



■壁掛型デジタルレコーダー-16局 1TB

C-DV164W10

オープン価格

1TB | カメラドライブユニット内蔵

15型液晶モニター | 音声記録 全系統

TOA 株式会社

●お問い合わせ…神戸営業所 TEL.078-303-5625 FAX.078-303-5626
ホームページアドレス：<http://www.toa.co.jp/>

『神戸市危機管理センター』の設備概要

神戸市都市計画総局建築技術部設備課

■ 神戸市危機管理センターの役割

3月11日に発生した東日本大震災は、非常に大きな津波を伴って、東北地方をはじめ、東日本に著しく膨大な被害を引き起こしましたが、神戸市では、直ちに救援活動に取り組むとともに、16年前、阪神・淡路大震災の発生時に、全国から受けた支援に対する感謝の気持ちを込めて、復旧・復興の支援に取り組んでいます。

一方、近い将来に発生することが確実視され、神戸市内でも津波による浸水被害が想定される東南海・南海地震や、地球温暖化に伴う局地的集中豪雨や台風、新型インフルエンザなどの新たな感染症の発生、大規模事故などの市民生活を脅かす災害・危機への備えを着実に進めていくことが求められています。

こうした中、神戸市では、平成24年4月の全館共用開始に向け、市における危機管理の中核機能を集約し、災害発生時に安定的・継続的に機能を維持できるように十分な耐震性を備えた「危機管理センター」の整備を進めています。この「危機管理センター」の中に、「消防管制システム」、「消防無線」といった消防行政の中核機能を整備するとともに、災害発生時に初動対応時から災害の全容を的確に把握し、災害援助や応援要請等にかかる意思決定、市民・関係機関等への情報提供を迅速かつ効率的に行える「新危機管理情報システム」を構築しています。更に緊急時における情報伝達を円滑に行えるよう「デジタル防災行政無線」を整備します。

その一方で、阪神・淡路大震災の記憶を風化させることなく、広くその教訓を発信し、市民の防災意識の向上を図るための「地域防災シンポジウム」の開催などを危機管理センターの1階において広く広報できる計画をしており、地域の防災力の向上にも活用する予定となっています。

■ 建物概要

- ・建設場所：神戸市中央区江戸町97-1 他
- ・地域地区：商業地域(建蔽率80%/容積率700%)、高度地区指定なし、防火地域、中央駐車場整備地区、地区計画(旧居留地地区)、旧居留地都市景観形成地域
- ・建物規模：地上9階、地下1階建、塔屋1階
- ・構造：鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造(中間免震構造)
- ・敷地面積：3,597㎡
- ・延べ面積：27,332㎡

■ 電気設備工事

① 受変電設備

市役所既設電気機械棟特高電気室より6.6kV 1回線受電

② 発電機設備

- ・市役所既設電気機械棟に、既設発電機1,250kVA×2台
- ・危機管理センター9階 発電機室に625kVAの非常用発電機×1台

③ 幹線設備

一般負荷、重要負荷(発電機回路)、最重要負荷(無停電電源回路)の系統毎に幹線を敷設

④ 電灯設備

Hfインバータ直管型蛍光灯をベースにし、本部長会議室・プレスコナ・廊下・階段などにおいてLED照明を採用

⑤ 動力設備

空調機器、衛生機器に対して動力盤を設置し二次側配管配線を行う

⑥ 電話設備

消防用電話交換機を設置し、市役所一般電話交換機と接続することで、一般電話、消防電話の相互内線通話を可能とする

⑦ 情報配線設備

庁内ネットワーク及び危機管理センターネットワーク用の配線 Cat5e、Cat6e、光ケーブル（SM）を整備する

⑧ 放送設備

危機管理センター1階副盤室にて、非常業務兼用の防災アンテナを設置すると共に、防災センターにてリモコン盤を設置

⑨ 時計設備

1階副盤室にて時計親装置を設置。屋上長波アンテナにて時刻補正

⑩ 監視カメラ設備

1階エントランスロビー、本部員会議室、プレスコーナーにおいて監視カメラを設置

⑪ 自動火災報知・防排煙設備

危機管理センター1階の副盤室にて、GR型複合受信機（自動試験機能付）を設置し、防災センターにて総合操作盤と接続

⑫ 非常電話設備

防災センターにて親装置を設置。副盤室に副親機を設置。非常時には危機管理センター1階副盤室でも使用できるよう切替コネクタを整備

⑬ TV共聴設備

屋上に、UHF×2、BS、110度CSアンテナ建物西側より将来CATV対応用の空配管を整備

⑭ 入室管理設備

消防管制室、（消防）管制機械室などにおいて、指静脈・カード認証の入室管理（電気錠）設備を整備

⑮ 中央監視装置

防災センターの既設中央監視装置に接続を行い、受変電設備・空調設備・衛生設備等の監視を行う

⑯ 雷保護設備

J I S A 4201（2003）レベルⅢ

■ 昇降機設備工事

① 非常用・人荷用エレベータ2基を設置

- ・駆動方式：ロープ式
- ・積載荷重：17人乗 1,150kg
- ・速度：90m/min
- ・停止階床：B 1～9階（10停止）
- ・管制運転：地震管制
- ・監視盤：防災センターに監視盤を設置
また、1階副盤室にも副監視盤を設置

② 自動車用エレベータ1基を設置（建築工事）

- ・駆動方式：ロープ式
- ・積算荷重：2,500kg
- ・速度：UP 20m/min、
DOWV 30m/min
- ・停止階床：B 1～1階（2停止）
- ・管制運転：地震・火災・停電管制
- ・監視盤：防災センターに監視盤を設置

■ 太陽光発電設備工事

屋上に10kWの太陽光発電設備を設置

■ 無停電電源装置設備

危機管理システムなどのシステム電源として、無停電電源設備（100kVA）を設置

■ 給排水・衛生設備工事

① 給水設備

- 給水系統は、「飲用水」と「雑用水」の2系統給水方式を採用

通常時は、井水利用により水資源の有効活用を図り、災害時の断水対策に活かす

飲用水：供給先 手洗い器など人の体に触れる系統

受水槽：地下1階に耐震性に優れた鋼板製水槽 8 m³×2基

水源：上水

給水方式：加圧給水方式

受水槽が水没したときは、ペットボトルにより飲用水の確保

雑用水：供給先 便所洗浄水、屋上散水用の系統

受水槽：地下1階躯体ピット水槽 55 m³×2基

水源：井戸水+上水

給水方式：加圧給水方式

地下階が水没した時（洪水想定水位以上）、給水が可能なように加圧給水装置は、洪水想定水位以上より上に設置

② 排水設備

- 建物内は、「汚水」「雑用水」の分流方式
屋外は、合流方式

2階以上：重力排水の自然流下方式

1階：重力排水の自然流下方式。1階専用排水とし弁閉鎖機構付などにて洪水時に逆流防止対策

地下1階：ポンプアップ方式

免震層内：湧水・雨水浸入水の排水用として、免震ピットに湧水槽を設置、ポンプアップ方式

※災害時に下水道本管が使用不能となった際に備えて、地下1階に緊急排水槽を設置。緊急排水槽への流入切り替えは、排水管最終桝に隣接する排水主管の手動バルブ切り

替えにて行う

③ 給湯設備

- 局所方式による給湯設備

飲用給湯：電気貯湯式給湯器

雑用給湯（風呂等）：ガス瞬間式給湯器

…循環機能付大型ガス湯沸器にて供給

④ 衛生器具設備

- 節水型器具を使用。“使い易さ・清潔性・節水型”に配慮した器具
- 1階HWCは、オストメイト対応

⑤ 消火設備

- 閉鎖型スプリンクラー設備：全館に設置
- 不活性ガス消火設備（窒素ガス）：
消防管制室・管制機械室・データメンテナンス室・情報機器室・電気室
- 泡消火設備：地下駐車場
- 連結送水管設備：3階以上の各階
- 消火器（ABC消火器）：全館
- 消防用水利：雑用水槽に採水口を設けて消防水利として利用

⑥ 井戸設備

- 既存2号館から既設の井戸水配管（水処理水）を延長し、雑用水の補給水源

■ ガス設備工事

都市ガス設備：GHPへのガス供給・給湯用ガス湯沸器にガス供給

■ 空気調和設備工事

① 空調工事

- 事務室の冷暖房は、日常の運転操作性に優れ、災害時対応が行いやすい「電気式マルチエコン（EHP）」による個別空調方式
- EHPによる冷暖房とGHPによる外気処理の併用方式。室外機は、屋上設置。室内機は各室

に分散

- ・外気処理の空調は、夏季のデマンド低減と冬季暖房に優位性がある「ガスエンジン・ヒートポンプ（GHP）」による個別空調方式

室内機は、床置き型空調機にて各階の機械室に分散設置

室外機は、屋上設置

- ・重要諸室は、非常用発電機回路も併用。また、ダクトによる空調方式を採用。天井から空調機器や水配管を排除することにより、漏水事故防止を配慮

…危機管理情報センター・危機管理事務室・機器制御室・消防管制室・消防作戦室・管制機械室・データメンテナンス室・情報機器室・電気室

- ・機器発熱量が大きい事が見込まれるために、下記室は、床置型設備用エアコンとして年間冷房運転対応可とし、24時間運転のために、機器の故障対応として予備機を併設

…消防管制室・管制機械室・データメンテナンス室・消防電気室

- ・小部屋は、ルームエアコンを設置

- ・外気冷房システム

中間期の空調停止期間中に「外気冷房」を積極的に行えるようにして、事務室内の発熱を有効に除去する

4階以下の危機管理センター関連諸室は、階段室の煙突効果を利用した自然換気方式による外気冷房システムとすることにより、災害時（停

電時）において効果を発揮できる方式を採用

下層階 2階～4階

方式：「階段室の竪穴を利用した自然換気」による外気冷房

上層階 6階～8階

方式：排気ファンを利用した第3種換気方式による外気冷房

② 換気設備

居室の換気設備は、外気処理の空調機にて室内に供給した外気を、パスタクト等で廊下に通気させ、各階便所・リフレッシュコーナーから屋外に排出

電気室・機械室・オイルタンク室等は、第1種換気方式

駐車場は、専用ファンによる第3種換気方式

③ 排煙設備

全館機械排煙方式

機械排煙は3系統 ①非常用EVロビー系統 ②一般排煙系統 ③駐車場排煙系統

④ 自動制御設備

- ・外気冷房システムの制御装置

既存エネルギーセンター中央監視盤にて監視・運転管理を行う

- ・EHP・GHPの集中コントローラ機能
空調機器やポンプ等の状態、故障の遠隔監視と運転管理



危機管理センター西側公開空地



屋上ホバリングスペース／太陽光発電



エントランス・ロビー



電気室



本部員会議室



だれでもトイレ



事務室スペース



地下駐車場

■ 施工体制

発注者：神戸市都市計画総局建築技術部
建築課・設備課

設計：日建設計(株)
神戸市都市計画総局建築技術部
建築課・設備課
工事監理：日建設計(株)

神戸市都市計画総局建築技術部

建築課・設備課

施工会社：

◇ 建築工事

…鴻池組・春名建設特定建設工事共同企業体
(1,817,190,900円)

◇ 電気設備工事

…西部電気・カデックス・ミナト特定建設工事
共同企業体 (471,266,040円)

◇ 給排水・衛生工事

…山本設備機工(株) (169,365,000円)

◇ 空気調和設備工事

…邦設備工業(株) (281,505,000円)

◇ 昇降機設備工事

…日本エレベータ製造(株) (57,666,000円)

◇ ガス設備工事

…大阪ガス(株) (4,573,800円)

◇ 太陽光発電設備工事

…太昭電設(株) (12,815,250円)

◇ 無停電電源装置設置工事

…富士通ネットワークソリューションズ
(株) (29,043,420円)

クリップボックス

BOXタイプの後付工法用部材

NEW

**後付工法
新提案**

片手で簡単、
挟んで入れる速施工

日動電気株式会社
電材営業部
〒530-0043
大阪市北区天満1丁目25番17号

特長

- ① ボード厚 9.5 ~ 25mm に対応
- ② 壁内空間 40mm で施工可能

開口後、電線を通し、枠部の上側とボックスでボードを挟みます。

ボックスの上部を押し上げます。

ボックス下部のねじ穴部を押しながら、枠部を下へ下げます。

器具を取付けます。

豊かな快適環境を創造する INABA

HOUSING
住宅・店舗

感性の時代にマッチした生活シーンの実現を支援

BUILDING
建物

インテリジェント化が進む都市機能の円滑化

FACTORY
工場

生産の場に求められる合理化対策に対応

PUBLIC
公共施設

快適な社会生活を形成する都市づくりへの貢献

因幡電機産業株式会社 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-11-14 tel (06) 4391-1781 fax (06) 4391-1806
URL <http://www.inaba.co.jp/>

三菱電機の「スマート電化」

三菱電機株式会社 リビング・デジタルメディア事業本部
電材住設事業部 電材住設計画部

【はじめに】

オール電化はここ数年、IHクッキングヒーターの躍進、エコキュートによる給湯の認知をはじめ、機器設置率も年々向上し、オール電化の暮らし・住まいは拡大の一途を辿って参りました。電力会社の施策にも後押しされ、オール電化の認知は大きく進み、社会的な役割も増大、住宅設備分野での大きな潮流となっていたことは誰もが認めるところです。ところが、2011年3月の震災を機に、このオール電化の市場は大きく変わりました。新築分野におけるオール電化（エコキュート・IHクッキングヒーター）の需要は前年以上をキープしていますが、既築分野における大きな需要の減少は、過去に例を見ず、電力会社の営業自粛やオール電化が数々の誤解や風評を受け敬遠されていることがこの要因と思われる。

この誤解や風評の一つに、「節電が要請される中、オール電化は電気を大量に消費する反社会的なもの」というように言われることがあります。このことについて、弊社では各機種の商品特性やオール電化の特長を再度棚卸しし、その誤解や風評の中に一

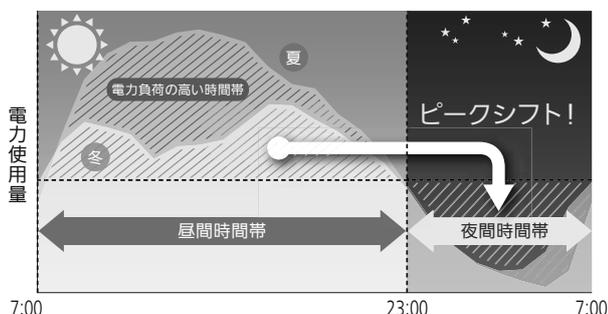
部でも事実があるのかを確認した上で、もう一度原点に立ち返ってお客様に丁寧に商品PRしていく必要があると考えました。

【オール電化商品の特性、オール電化の特長】

- エコキュートについては、図1のとおり主に夜間電力を使用するため、エネルギーの蓄積媒体としてピークシフトに貢献します。また、ヒートポンプを使って大幅な省エネ（ヒーター式の約1/3の電気量でお湯を沸かす）を実現することができます。



図2 三菱エコキュート



※東京電力ホームページからのデータを当社にてグラフ化。
夏:2010年(平成22年)7月23日(金)、冬:2011年(平成23年)2月14日(月)
東京電力夏期/冬期実績(5999/5150万kWh)

図1 エコキュートはピークシフトに貢献

IHクッキングヒーターについては、熱効率が高い為、必要以上の火力使わずに、効率の良い調理が可能です。〈最大消費電力は5,800Wですが、1食の調理に使用する消費電力量は平均約424Wh*です。(最大消費電力を4,800Wに切り換えできる機種もございます。)>

また、IHは鍋が発熱するので輻射熱が少ない為、キッチンの温度があがりやすく、空調機器の仕様も抑えられます。(これにより、夏場のエアコンの冷

房設定温度が抑えられる効果があります。) 更に、裸火が無く、ふきこぼれても火の立ち消えの心配が無い安全性はIHクッキングヒーターの大きな特徴です。

- * 日本電機工業会自主基準に基づく当社計算値
1家族4人(大人2名・子供2名)の一週間の朝昼晩を設定し、平日の昼は一人分と設定。メニュー・レシピについては、横浜国立大学の監修により標準的なメニュー・レシピを選定。1週間分の消費電力量を7日で除した値を1日分の消費電力量とし、1ヶ月30日、1年365日として計算。



図3 IHクッキングヒーター

- 電気については、災害時にライフラインとしての回復が早いことに加え、エコキュートは貯湯式なので水道が止まっても暫くは生活用水としての水やお湯が使用できます。また、太陽光発電システムは自立運転が可能です。

これらの商品特性やオール電化の特長を基に、弊社ではエネルギー全体の最適利用や快適・安全の観点から、オール電化の普及の必要性に変化はないと判断したのです。

【オール電化と太陽光発電システムとの組み合わせ=スマート電化の誕生】

さて、現在の節電ムードの高まり、自然エネルギーへの関心の高まり、省エネ機器への買い替え意識の高揚を受け、今後のオール電化(次世代オール

電化)は、

- 太陽光との組み合わせによる「創エネルギー」やヒートポンプを活用した高効率な「省エネルギー」を実現することにより、エネルギーの有効活用・節電を加速すること
 - 「安心・健康・便利・心地よい暮らし」(快適な暮らし)を実現すること
- の双方が求められていくものと思われます。

そこで、弊社では、次世代のオール電化を、「創エネ・省エネ(節電)と快適な暮らしを両立させること(節電と快適のグッドバランス)」と考えました。

そして、このコンセプトを新たに「三菱の*スマート電化」と称することとしたのです。

*「スマート電化」は弊社商標登録申請中です。



明日へエネルギーマネジメント

図4 三菱のスマート電化

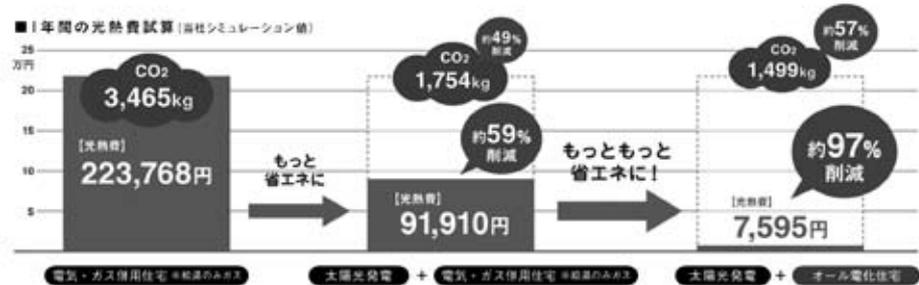
このスマート電化(太陽光発電とオール電化(ヒートポンプ技術)での省エネ組み合わせ)では、

1. 需要家(エンドユーザー)の節電(省エネ)
2. 再生可能エネルギー(太陽光、ヒートポンプ)の導入(CO₂削減等、地球環境への貢献)
3. 自然エネルギーの活用による電力供給量の増加
4. 夜間電力の有効活用(給湯機)
5. 停電対策(太陽光:昼間のみ)

などが図れます。

実際に太陽光とオール電化は大変相性が良く、組み合わせることで、従来の電気・ガス併用住宅(給湯のみガス)に比べて、光熱費は約97%削減、CO₂も約57%も削減可能です。(図5)

なお、スマート電化商品として、弊社では、太陽光発電システム、エコキュート、IHクッキングヒーターに加え、ヒートポンプ式温水床暖房システム(エコヌクール)、エコミスト、ビルトイン食洗機などを全て自社製でラインナップしています。各機種とも、創エネ・省エネなど、機器の効率を意識



○給湯: 湯熱回収型ガス給湯機(機器効率:0.95)と当社エコキュートSRT-HP37WUX5型(10年製・機器効率:3.3(AFP))との比較、○暖房: 当社電気コンロCH-7310型(89年製・機器効率:0.725)と当社IHクッキングヒーターCS-PT31HNWSR型(11年製・機器効率:0.867)との比較、○太陽光発電: 4.0kWシステムを設置した場合(モジュール: PV-MA2000B×20枚、パワーコンディショナ: PV-PN40G、大阪市内南向き・屋根傾斜角30度設置)、○冷暖房: 当社ルームエアコンMSZ-ZXV400S型(10年製・機器効率:6.1(AFP))、○その他電力: 電力統計情報等をベースにした当社試算値、○戸建住宅: 延床面積122㎡、住宅性能は次世代省エネ基準、4人家族を想定し試算、○電気料金: 電気・ガス併用住宅の場合は関西電力(従量電灯契約)、オール電化住宅の場合は「はぴタイム11」(11年7月現在)、ガス料金は大阪ガスの11年7月時点の燃料調整費等を除く基準単位数、単位発熱量45MJ/Nm³にて試算、○各負荷の概算など、●冷暖房負荷: BEC(財団法人建築環境・省エネルギー機構)作成のSMASH(熱負荷計算ソフト)にて、空調学会に基づくスケジュールにて想定住宅のリビング、洋室、寝室などの居室を空調するものとして算出、冷房: 14.919MJ、暖房: 14.201MJ、●給湯負荷: BEC標準M1モードの使用湯量と温度を想定給湯温度により算出、さらにさらに湯2に加熱分の熱量を加算、エコキュートでは各モード(平日、休日、在宅・不在)ごとの不足分を昼間負荷とし、昼間需要は149MJと想定、工場出荷時のおまかせモードで運転、負荷: 17102MJ、●調理負荷: JEMA(財団法人日本電機工業会)発行の「H使用いこなし」知得ガイド1011ヶ月の光熱費1,109円を指標に、電力単価を20円/kWhとして調理用を算出、負荷: 2,136MJ、電気・ガス併用住宅では電気コンロで試算している為、電気の基本料金がガスコンロの場合より高くなっています、●その他電力: 電気事業連合会の電力統計情報などの月別負荷パターンを参考に、電力量の最小使用月を空調なしの条件と想定し、この値を12ヶ月一定に設定、消費電力量: 3,639kWh、●太陽光発電: 発電量4,344kWh、全効電力買取価格42円/kWh、●CO₂排出量換算係数: 電力からCO₂排出量の換算係数として0.4kg/kWhを使用、「各国における発電部門CO₂排出原単位の推計調査報告書」ver.3(2006、Revised)、「JEMA」より、都市ガスからCO₂排出量の換算係数として2.23kg/Nm³(単位発熱量44.8MJ/Nm³)を使用、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条(平成22年3月30日一部改正)」(環境省)より、

シミュレーション結果について 本シミュレーションはお客様の生活パターン、各製品の使用パターンを仮定し計算していますので、実際の省エネ・省CO₂効果とは大きく異なる場合がございます。あくまで目安としてご利用下さい(本シミュレーション結果はお客様の省エネ・省CO₂効果を保証するものではありません)。

図5 太陽光とオール電化を組み合わせれば光熱費・CO₂は大きく削減

した商品開発を行い、新商品としてご提供しています。

弊社では、これら商品を組み合わせた「スマート電化」の訴求により、現在のオール電化市場の閉塞感を打破し、市場のムードを盛り上げていきたいと考えています。その為に、TV-CM(スマート電化、エコキュート、IHクッキングヒーター、太陽光発電)を初めとする広告宣伝活動やエンドユーザー様向けのキャンペーンを展開するなど販促活動にも力を入れています。

【スマートグリッドについて】

さて、弊社では、今後の低炭素社会実現に向けた電力供給設備の変化や、社会ニーズの変化に対応し、スマートグリッドへの取り組みを強化いたします。

今後、我が国で大量の再生可能エネルギーを導入しても、信頼性の高い電力供給を維持する為には、まず、「基幹系・配電系・需要家の全域にわたる再生可能エネルギーの大量導入による系統の変化」を「実地で」技術的に分析・実証することが必須です。

これを弊社の持つ総合技術力をベースに、実証実験による確かな技術検証に立脚したスマートグリッドによる電力安定供給の実現を目指します。具体的には、昨年度及び今年度にかけて、総額70億円を投入し、2020年以降の送配電網を想定したスマートグ

リッド実証実験設備を自社内に構築します。また、「自社設備」のメリットを生かし、スマートグリッドに関する技術の早期確立・製品化を目指します。

スマートグリッド実証実験では、要となる実験は当社の工場及び研究所で実施しており、尼崎地区、和歌山地区、そして大船地区の3つの地域で進めています。

【スマート電化の将来】

その実証実験の一つとして、弊社では、スマート電化の完成系を目指し、神奈川県鎌倉市大船に実証ハウスを建設しました。



図6 大船スマートハウス(実証ハウス)

このハウスには、太陽光、熱、自然風などの自然エネルギーを最大限活用するとともに、弊社最新の高効率省エネ機器による節電とHEMS(Home

Energy Management System) による節電・快適・安全・安心を実現するシステムが設置されています。

現在、住宅に住まうお客様のニーズとして

- ・電力使用量抑制などの節電、ピークシフト要求に答えることで社会に貢献したい
- ・一方で、ピークシフトや万一の停電時にも、できるだけ普段の生活の維持をしたい
- ・家族や機器状況を検出することで、万一の際の安全・安心を高めたい

などがあり、それらに対応した居住者の暮らしに対応したシステムの開発と実証を目標としています。

(大船スマートハウスは実証実験の施設の為、一般公開は行っておりません。)

将来的にこのスマート電化は、生活パターンセン

サー、HEMSなどの最新機器・システムと連携し、制御されることでエネルギーの無駄を無くしながら、住む人の快適性を高めます。さらに、HEMSがホームゲートウェイを介して宅外とつながることで、様々なサービスを提供することが可能になっていくと考えられます。

【最後に】

弊社では、スマート電化を「暮らし・住まいのエネルギーシステムの根幹」として、今後更に市場規模の拡大を目指して参ります。

皆様におかれましては、是非スマート電化へのお取り組み強化と、弊社のスマート電化商品の更なるお取扱いをいただきたく、お願い申し上げます。

三菱の「スマート電化」

MITSUBISHI

快適な暮らし

- ・火を使わないから安心
- ・自家発電だから停電時にも自立運転できる
- ・子どもからご年配の方まで手軽に扱える安全で簡単な操作性

「スマート電化」とは、電気をつくって、かしこく使う。
三菱が提案する新しい暮らし方です。

省エネルギー
ヒートポンプ技術

第57回 通常総会



平成23年5月25日（火）神戸市中央区の生田神社会館で第57回通常総会を開催し、平成22年度事業報告及び収支決算が満場一致で承認されました。

通常総会は、午後3時生田神社会館3階菊において130社（委任状提出70社を含む。）の出席のもと田中理事（総務副委員長）の司会により開会しました。

建設業関係殉職者・当協会関係物故者・東日本大震災の犠牲者に対して黙祷を捧げた後、西村会長が開会の挨拶を行いました。

議長選出、総会成立宣言、議事録署名人選出に続いて議事に入りました。

第1号議案「平成22年度事業報告に関する件」及び第2号議案「平成22年度収支決算に関する件」が一括上程され、指名を受けた平井副会長及び大川常任理事（総務委員長）から議案説明の後、宮崎監事から監査報告があり、両議案とも異議なく可決承認されました。

続いて、公益法人制度改革について、平井副会長から当協会是一般社団法人へ移行する方針を決定したとの報告がなされ、拍手多数で承認されました。最後に、前田副会長から審議協力に対する謝辞を述べ、総会は終了しました。

西村会長挨拶

第57回通常総会の開催のご案内をいたしましたと

ころ、公私ともご多忙の中、ご出席いただき有難うございます。

さて、この度、大変な地震が起きました。16年前我々は、阪神淡路大震災で地震と火災は経験しましたが、今回のような津波や原子力発電の大事故は初めての経験です。しかしながら、記録によると1,000年前に貞観地震という地震が起こって、今回と同程度の津波がこの地方に押し寄せたということです。今回の地震、津波が非常に大きかったとは言え、想定外で片づけられては危機管理としては困ります。

7月に安全衛生推進大会が行われますが、普段からの危機管理への心構えがいかにか大事であるかということを経験で痛感しました。当協会では県と防災協定を締結しており、緊急連絡網による訓練を年2回実施するなど非常時に備えています。今回の震災を契機として一層危機管理、防災意識を高めていきたいと考えています。

また、例年は総会の後、知事を始め県幹部や関係団体等の皆さんをご招待して懇親会を開催していましたが、今回は懇親会を中止してその経費を被災地に義援金として寄贈することにいたしました。それで4月12日県庁を訪問し、知事に今回の懇親会の中止のご説明をさせていただいた上で義援金100万円を寄贈し、知事からは感謝状と謝辞を頂戴いたしま

した。被災地の1日も早い復興を心から念願しているところですが、自粛は今回限りとして、次回懇親会からは通常通り開催いたしたいと思います。

また、後ほど説明がありますが、新社团法人への取り組みも着実に進めていきたいと考えていますので皆様のご協力をお願いします。

それから、この度、西部電工(株)の小山副会長が、永年にわたって電業協会の組織強化と業界の発展のために尽くされた功績により、5月3日付けで兵庫県知事からまちづくり功労者表彰を受賞され、去る18日に県公館において表彰式が行われました。以上ご報告させていただきます。



西村会長挨拶

[第56回通常総会の概要]

- 1 開催日時 平成23年1月12日(水) 15時30分～16時35分
- 2 開催場所 生田神社社会館 3階菊
- 3 出席会員 115社(委任状57社を含む。)
- 4 議 事
 - ① 平成22年度収支補正予算に関する件
 - ② 会費改定に関する件
 - ③ 平成23年度事業計画に関する件
 - ④ 平成23年度収支予算に関する件
 - ⑤ 役員選任に関する件(全て原案可決)
- 5 その他 新会員の紹介及び永年勤続優良従業員表彰並びに退任された理事への特別表彰を行い、総会を終了しました。

引き続き、午後5時から同会館4階富士に場所を変え、兵庫県知事 井戸敏三氏、同副知事 吉本知之氏をはじめ兵庫県・神戸市幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、約150名が参加して平成23年新年名刺交換会が開催されました。

開会に先立ち、まず、生田神社の巫女によるお神楽・豊栄の舞を奉納し、参会者の繁栄を祈念した後、

西村会長の挨拶、井戸知事及び原亮介顧問の祝辞、来賓紹介の後、平成22年7月に国土交通大臣表彰を受賞された平井伸幸副会長に西村会長から協会祝い金が手渡され、祝意を表しました。

続いて賛助会員の紹介の後、川端相談役の発声による乾杯で、和やかな懇親パーティーに入り、出席者の交流を図りました。



新年名刺交換会



知事挨拶

理 事 会

当協会では、この1年間に次のとおり9回理事会を開催し、業務の執行について審議し、決定しました。

平成22年度第8回理事会

- 1 開催日 平成23年2月25日（金）
- 2 開催場所 しら波荘（南あわじ市阿那賀）
- 3 協議事項
 - ① 常任理事及び総務委員の選出について
 - ② 一般社団法人への移行について
 - ③ 公益法人制度改革特別委員会の廃止について
 - ④ 地区懇談会について
 - ⑤ 県民局及び市町への訪問について
 - ⑥ 県との意見交換会について
 - ⑦ 第57回通常総会の日程について
 - ⑧ 経営事項審査改正点の説明会について
 - ⑨ エコアクション21・関係企業グリーン化プログラムへの参加希望について

平成22年度第9回理事会

- 1 開催日 平成23年3月24日（金）
- 2 開催場所 協会事務局（以下同じ）
- 3 協議事項
 - ① 第57回通常総会について
 - ② 東日本大震災の被災者への義援金について
 - ③ 新設法人の認可申請等の対応について
 - ④ 県との意見交換会について
 - ⑤ エコアクション21・関係企業グリーン化プログラムへの参加希望について



平成23年度第1回理事会

- 1 開催日 平成23年4月20日（水）
- 2 協議事項
 - ① 東日本大震災の被災者への義援金について
 - ② 第57回通常総会の開催について
 - ③ 年会費の納入依頼について
 - ④ 安全衛生推進大会の開催について
 - ⑤ 第1回技術講習会について
 - ⑥ 「こども110番の車」パトロール事業に係るステッカー更新について
 - ⑦ 平成23年度事業計画について

平成23年度第2回理事会

- 1 開催日 平成23年6月21日（火）
- 2 協議事項
 - ① 正会員・賛助会員の退会について
 - ② 県との行政懇談会の開催について
 - ③ 会報誌について
 - ④ 政治資金パーティー券の購入について
 - ⑤ 安全衛生推進大会及び安全衛生優良工事表彰について
 - ⑥ 技術講習会の開催について
 - ⑦ 施設見学会の開催について
 - ⑧ 1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の開催について
 - ⑨ インターンシップの受入について
 - ⑩ ものづくりコンテスト特別審査員の派遣について
 - ⑪ 経営講演会の開催について
 - ⑫ 近畿6電業協会会長連絡協議会への資料提供について

平成23年度第3回理事会

- 1 開催日 平成23年7月22日（金）
- 2 協議事項

- ① 県との行政懇談会について
- ② 一般社団法人への移行について
- ③ 賛助会員の入会について
- ④ 会費未納会員への対応について
- ⑤ 政治資金パーティー券の購入について
- ⑥ 第2回技術講習会について
- ⑦ 施設見学会の開催について
- ⑧ 1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の開催について
- ⑨ 経営講演会の開催について
- ⑩ インターンシップの受入について
- ⑪ 分離発注実施状況調査について

平成23年度第4回理事会

- 1 開催日 平成23年9月13日(火)
- 2 協議事項
 - ① 会報No.31(2012.1)の発行について
 - ② 正会員の入・退会について
 - ③ 会費未納賛助会員への対応について
 - ④ 永年勤続優良従業員表彰について
 - ⑤ 平成24年度予算編成について
 - ⑥ 県民局等訪問について
 - ⑦ 施設見学会の開催について
 - ⑧ 災害対策等連絡網伝達訓練について
 - ⑨ 経営講演会&県有施設設計講習会の開催について
 - ⑩ 「コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」への参加について
 - ⑪ 第58回通常総会の日程について
 - ⑫ 台風第12号の被害状況について
 - ⑬ 政治資金パーティー券の購入について
 - ⑭ 「神戸ビエンナーレ2011」の入場券前売り斡旋依頼について

平成23年度第5回理事会

- 1 開催日 平成23年10月20日(木)
- 2 協議事項
 - ① 会報No.31(2012.1)の発行について
 - ② 正会員の入会について
 - ③ 新顧問について
 - ④ 県民局等訪問計画について

- ⑤ 青年部会への事業委託について
- ⑥ 施設見学会について
- ⑦ 災害対策連絡網伝達訓練に係るアンケートについて
- ⑧ 県管理河川等公共施設愛護活動に係る経費の支出基準について
- ⑨ コウノトリ翔る但馬まるごと感動市へのボランティア参加について
- ⑩ 政治資金パーティー券の購入について

平成23年度第6回理事会

- 1 開催日 平成23年11月17日(木)
- 2 協議事項
 - ① 永年勤続優良従業員表彰の決定について
 - ② 平成23年度補正予算について
 - ③ 平成24年度事業計画及び収支予算案について
 - ④ 一般社団法人への認可申請について
 - ⑤ 第58回通常総会及び平成24年新年名刺交換会について
 - ⑥ 県との意見交換会について
 - ⑦ 災害対策連絡網伝達訓練の伝達手段の変更について
 - ⑧ 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の開催について
 - ⑨ 暴力団追放対策講習会の開催について

平成23年度第7回理事会

- 1 開催日 平成23年12月15日(木)
- 2 協議事項
 - ① 第58回通常総会及び平成24年新年名刺交換会について
 - ② 地区懇談会について
 - ③ 30周年記念事業及び第59回通常総会について
 - ④ 役員改選について
 - ⑤ 県との意見交換会について
 - ⑥ 一般社団法人の認可申請について
 - ⑦ 災害対策連絡網伝達訓練に係る伝達手段の変更について

委 員 会

1 総務委員会

総務委員会は、委員長以下8名の委員で組織され、この1年間に9回の委員会を開催し、総会・理事会の開催計画、会員の入・退会、事業計画の策定、行政懇談会・地区懇談会の開催、永年勤続優良従業員表彰の実施、会報の作成などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれらの事業を執行しました。



2 技術・安全委員会

技術・安全委員会は、委員長以下8名の委員で組織され、この1年間に5回の委員会を開催し、技術講習会・施設見学会・1級施工管理技術検定受検対策講習会・安全衛生推進大会の開催、安全衛生優良工事表彰、災害対策等緊急体制の整備、こども110番の車パトロール事業、暴力団追放活動講習会などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれらの事業を執行しました。



3 経営委員会

経営委員会は、委員長以下8名の委員で組織され、この1年間に6回の委員会を開催し、インターシップの受入、高校生ものづくりコンテストへ特別審査員の派遣等将来の電気技術者の養成、県管理河川等公共施設愛護活動の実施、経営講演会&県有施設設計講習会などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれらの事業を執行しました。



県との行政懇談会

平成23年7月26日、社団法人兵庫県空調衛生工業協会と合同で兵庫県との恒例の行政懇談会が開催されました。県側からは県土整備部の松田県土企画局長、松本住宅建築局長の両局長を始め、小寺設備課長、森川契約管理課長など担当職員が、当協会からは西村会長を始め、副会長、専務理事、常任理事が出席しました。

松田局長の挨拶に引き続き、両協会長からそれぞれ、協会を取り巻く課題や取り組み状況について報告を行うとともに、大川設備課副長から設備課に係る建築工事の発注見通しについて説明があり、相互理解を深めました。

また、両協会から9項目にわたる要望や質問が出され、これに対して県の考え方が示されました。行政懇談会の開催状況については次のとおりです。

- | | | | |
|-------|------------------|-------|--|
| 1 日 時 | 平成23年7月26日(火) | | |
| | 10時30分～11時50分 | | |
| 2 場 所 | 兵庫県林業会館 3階 304号室 | | |
| 3 出席者 | 兵庫県県土整備部 | | |
| | 県土企画局長 | 松田 直人 | |
| | 住宅建築局長 | 松本 啓朗 | |
| | 県土企画局契約管理課長 | 森川 敏嗣 | |
| | 契約管理副課長 | 上出 博一 | |

同課課長補佐兼入札制度係長

堀内 秀樹

総務課建設業室長

村上 武雄

技術企画課副課長

服部 洋平

住宅建築局設備課長 小寺 泰雄

設備副課長兼管理係長

覺野 和貴

設備副課長(技術担当)

大川 清嗣

社団法人兵庫県電業協会

会 長

西村 善明

副 会 長

平井 伸幸

副 会 長

小山 恵生

副 会 長

前田 潮

常任理事

大川康太郎

常任理事

合田 吉伸

常任理事

立山 欽司

常任理事

寺坂 睦博

専務理事

先山 一矢

社団法人兵庫県空調衛生工業協会

神田 武 会長 ほか9名



松田局長挨拶



西村会長説明

○ 開会あいさつ

松田 直人 県土企画局長

本日はお忙しい所、行政懇談会にご出席いただき有難うございます。(株)兵庫県電業協会、(株)兵庫県空調衛生工業協会の役員の皆様方には、県有施設の設備工事をおして、平素より県政の推進、とりわけ安全・安心のまちづくりの推進に格別のご協力を賜わり、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、この度の東日本大震災では、自然災害に備えることの重要性を改めて思い知らされました。あの阪神・淡路大震災から16年余が経過しましたが、災害はいつ何時でも起こり得ると改めて感じます。

皆様方とは平成18年12月に「災害時における機能復旧対策業務応援に関する協定」を締結させて頂いております。この協定は、緊急時に総合庁舎や病院など県有施設の復旧業務に応援いただくもので、心強い支えであり、県が推進する安全・安心なまちづくりにも大きく寄与するものと期待しております。

また、4月には知事のもとへ、東日本大震災の被災者への多額の義援金をお届け頂き有難うございました。

阪神・淡路大震災を経験し、国内外の多大な支援を受けた私達だからこそ、1日も早い復興を願い、被災地支援に最大限の努力をしております。現在、設備課の職員延4名を応急仮設住宅の建築や県有施設の復興のため宮城県へ派遣しています。

さて、今年度予算では、第2次行革プランを前年度に策定したところであり、プランの基本的方向を踏まえて、一般会計では2兆1,285億円、前年度に対して760億円の減、投資的経費は1,986億円で前年度比で226億円減っていますが、平成22年度12月補正分を加えた16カ月予算として見ますと、平成22年度水準とほぼ同額になり、前年並を確保したところでは。

この懇談会は、(株)兵庫県電業協会及び(株)兵庫県空調衛生工業協会と県が、互いの考えについて理解を深め、相互の事業が円滑に実施されることをねらいとしています。両協会の皆様方には忌憚のないご意見をいただき、この懇談会が有意義で成果多きものとなることをお願い申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。

○ 主要事業説明

- (1) (株)兵庫県電業協会の事業計画概要について、西村会長から説明を行いました。
- (2) (株)兵庫県空調衛生工業協会の事業計画概要について、神田会長から説明を行いました。
- (3) 兵庫県県土整備部住宅建築局設備課の所管事業のうち、平成23年度建築工事発注見通し（一覧表）について大川設備課副課長から説明が行われました。

○懇談会議題（意見交換）

1 公共事業等予算の確保について （電業協会、空衛協会）

(1) 建設関係公共事業予算について（電業協会）

東日本大震災の発生から4カ月以上経過しましたが、あの未曾有の大災害の影響等により景気の先行きは不透明であり、また、原子力発電所の事故の収束も未だ見通しが立っていない中、節電要請が行われるなど市民生活、企業活動に支障が生じる等憂慮すべき事態が起きています。このような状況を踏まえ、県政推進の基調の一つとして頻発する集中豪雨、東南海・南海地震などへ備えて、自然災害への危機管理の徹底を図り、安全安心を支える基盤を充実し、質の高い生活の実現を目指されていることに感謝申し上げます。

地域の安全と安心の社会づくりのためには、建設関連事業の積極的な推進が必要であるとともに、県民の雇用や生活不安を払拭させるためにも、継続的な社会資本整備を進めることが、最も効果的な経済対策であると考えられ、多くの県民が期待しているところでもあります。

一方、総務省がまとめた県民一人当たりの行政投資額を見ますと、平成17年度の19万4千円から20年度には14万1千円と3年間で約3割減少し、全国平均より急激に落ち込んでいます。

つきましては、議決された予算について早期発注いただきますとともに、県の財政状況は非常に厳しいことは承知していますが、地域の安全と安心の社会づくりのためにも平成24年度予算において、建設

関係公共事業の拡大を図られるようお願いいたします。

【回答】 技術企画課

本年度予算は御指摘のとおり第二次行革プランの最初の年度ということで大変厳しい状況で予算編成しておりますが、23年度当初予算と平成22年度12月補正と合わせた16箇月予算として見ますと、22年度当初予算と21年度2月補正を加えた22年度水準と比較しますと、投資的経費につきまして、前年度水準並みの事業費を確保しており、経済・雇用対策、実需要の創出などに切れ目のない対応を図っております。

また、本年度予算については、債務予算等を活用して早期発注を行うとともに、事業実施にあたっては、河川改修や土砂災害対策など県民の安全・安心を「まもる」分野に重きを置きつつ、「つくる」から「つかう」を基本に、地域に密着した生活道路の安全対策やポンプ施設等の老朽化対策など、必要な事業への選択と集中を図ることにより限られた予算の中で効果的に事業を実施しております。

平成24年度予算については、東日本大震災の復旧・復興事業の本格化により、国の公共事業関係予算はさらに厳しい状況になることも考えられることから、引き続き国に対し、国の予算編成等に対する提案等の機会を通じて、地域の実情を踏まえた必要な予算総額の確実な確保を求めてまいります。

(2) 地球温暖化防止等環境対策予算について（空衛協会）

兵庫県におかれましては、厳しい財政事情にもかかわらず、太陽光発電の促進のための制度の創設や県施設、家庭、産業・業務部門の省エネルギー対策に予算計上されたことに心から敬意を表するところですが、原子力発電所の稼働停止による電力不足などが懸念される今こそ長期的視野に立って、積極的に公共施設、学校はもとより産業・業務部門においても節電、節水等省エネルギー機器への変換のための予算を確保していただき、その効果が着実に推進されるようお願いするものです。

低炭素社会づくりは、我々、設備業界こそが専門家集団であり、省エネ製品普及促進の協定も井戸知

事と両協会長が締結しております。計画的に着実に低炭素社会づくりが進みますよう要望致します。

例えば、耐震化工事が終わった学校・公的施設等から次は、LEDや節水型トイレなど節電節水機器への変換の予算化を一層推進することや国内クレジット制度に基づくCO₂排出削減事業に県からの補助金制度を設けるなどご検討願えないでしょうか。

また、省エネ機器等の導入に際し、利用可能な補助金や融資制度を設けることもご検討頂き、そのために、県民みどり税をモデルに新たな税制度を検討してもよいのではないのでしょうか。

【回答】 設備課

本県においては、県自らが率先して省資源・省エネルギーを実践するため、環境率先行動計画を策定し、計画的な取組を進めてきたところです。また、この度の6月補正予算において、夏期のピーク時電力15%削減、年間総電力使用量5%削減を目標に、率先行動計画の対策を強化し、家庭や事業者が行う節電の取組を支援することとしました。具体的には、庁舎等の白熱電球をLED電球に交換したり、トイレ照明の人感センサー設置等の県施設の省エネ改修、県立学校や警察署への太陽光発電設備の導入のほか、住宅用太陽光発電設備の設置補助や特別融資制度の創設、中小企業者を対象とした環境保全・グリーンエネルギー設備資金貸付金の制度の拡充を図りました。

さらに、産業・民生業務部門の温室効果ガス排出量削減を進めるため、国内クレジット制度を活用して平成21年度より進めている「CO₂削減協力事業」は、県内の大規模事業者が、削減余地はあるものの省エネをはじめとする削減対策が進んでいない中小事業者等に技術・資金等を支援し、共同して追加的に削減したCO₂削減量を大規模事業者に移転するものであり、県（財ひょうご環境創造協会）は双方のマッチング支援を行っています。なお、国の平成23年度予算において、低炭素型設備を導入した中小企業等に対し、その排出削減実績が国内クレジットとして認証された時点で、大企業とのマッチング前であっても国内クレジットと引き替えに助成金（1,500円/t-CO₂）を支給する制度が盛り込まれました。

なお、県民緑税による「まちなみ緑化事業」を担う都市政策課に聞いたところ、県民緑税は大切な緑を守る目的税的なもので、課税期間を平成27年度まで5年延長したところであり、新たな税制の拡大等は今のところ考えられないということでした。

また、国のエコポイント事業が再び話題となっておりますが、期待は大きいと考えます。

2 技術・社会貢献評価制度について (電業協会、空衛協会)

(1) 社会貢献評価対象項目の拡大について(電業協会)

21年度から電気・設備事業に係る公募型及び制限付一般競争入札の参加条件として技術・社会貢献活動評価点設定を導入され、更に本年7月1日からはその対象を1,300万円以上の入札にも拡大していただき協会活動を推進する上で大きな励みになっていきます。また、社会貢献の評価対象につきましては、点数の引き上げや但馬まるごと感動市の協力活動など対象項目の拡大等を図っていただき感謝申し上げます。

県下地域を見ますと、但馬地域のみならず県下持ち回りで開催されている「ふれあいの祭典への参画」、「県立こぼと聴覚特別支援学校へのボランティア活動」、「尼崎21世紀の森事業への参画」等兵庫県の主要な事業への参画・協力活動についても評価の対象にして頂けないかご検討をお願いします。

回答 契約管理課

技術・社会貢献評価項目のうち「地域づくりのために資する重要な活動」については、県の条例、県との協定等に基づいた県が関係する地域づくり活動への主体的な参加、又はその推進に係る県との協働であるものを加点の対象とすることにしています。

「但馬まるごと感動市」については、本年7月から加点の対象としたところであり、ご要望にある「ふれあいの祭典への参画」についても、同様に加点の対象としております。

「尼崎21世紀の森事業への参加」については、現在加点の対象としておりませんが、阪神南県民局に活動内容をご報告して頂き、同県民局から契約管理

課に加点対象になると報告できる状況であれば加点評価します。

なお、県立こぼと聴覚特別支援学校へのボランティア活動「夏の集い」への支援については、体験教育に位置づけられる活動であると確認しており、建設業に携わる者の育成という観点がないため、中学生を対象とするトライアルウィークの支援と同様に加点対象とはしておりません。工業高校生を対象とするインターンシップについては、建設業に携わる者の育成という観点から加点対象としております。

(2) 温暖化防止対策等の評価について(空衛協会)

空衛協会は、井戸知事が会長をされている「兵庫県フロン回収・処理推進協議会」(事務局：水大気課)の理事に就任しており、冷媒の適切な回収に努めるとともに県民への啓発活動に協力しています。

かつてオゾン層破壊の元凶であったフロンは今、冷媒として用いられなくなりましたが、業務用冷凍空調機器、家庭用エアコン、カーエアコンなど大半がフロン代替の冷媒物質としてHFCが用いられております。この物質はオゾン層には影響を与えませんが、大気中に放出するとCO₂換算数千倍の温暖化物質となります。そこで同協議会の会員となって、ひょうごエコフェスティバルなど環境イベントに協力した場合などについて加点が出来ないかご検討をお願い致します。

また、自らの企業がエコアクション21に取り組むなどには評価を頂いておりますが、社屋などに屋上緑化や自然採光設備の導入、太陽光発電の導入など率先して兵庫県の施策に呼応して協力した場合などには評価をいただきたく併せてご検討をお願いいたします。

回答 契約管理課

各団体で社会的責任を果たすということで、環境負荷軽減への各種の取組を行っていただいていることについては敬意を表します。いろいろな取組がある中で、県の契約制度での評価になじむものとそうでないものがあります。「ISO14000シリーズ認証取得」や「エコアクション21認証取得」につきましては、活動主体が限定されず普遍性があり、なおか

つ国等が定めた実施基準に基づいて行われる活動ということで技術・社会貢献評価項目の対象としています。

どのような企業でも参加できる取組を対象としており、ご要望のような特定企業や団体が個別に取り組んでいるものについては、有意義な活動であると理解しておりますが、評価の対象とはしておりません。

3 工事成績を評価する入札制度について (空衛協会)

建設工事入札参加者に係る資格格付要領では、工事成績においても算定表に基づく加点がありますが、総合的な合計点による区分の中に含まれます。しかしながら、協会としては、優秀な施工をめざし、技術研修会の開催や兵庫県出納局の指導の機会を設け能力向上に努めております。

そこで、こういった施工能力の向上の努力に対し、工事成績の評価が一層目に見えて評価頂く制度を新設できないか、ご検討をお願いするものです。

工事成績評価点の一定以上の点数に対し点数を設定し、入札参加時に、ある点数以上持っている優秀施工者を参加させる制度を新設してはどうかというものです。そうすることにより、業者の総合持ち点以外に施工能力を特化して評価することが可能となり、業者の能力向上につながるものと思います。

また、近畿府県の状況を見ますと、設備関係工事においても総合評価方式が導入されていますが、本県でのその後の導入の見通しなどについて、お考えや計画がございましたらご教示下さい。

回答 契約管理課・設備課

工事成績自体は入札参加者の能力の向上と県工事の品質の確保のために活用すべきものと考えております。

各ランクの企業の施工能力に応じて設定している発注対応金額において県内企業に対する成績特例範囲を設定し、平均工事成績が75点以上の企業が参加できることとしています。その他、技術・社会貢献評価制度の評価項目として工事成績を活用し、技術力の高い企業により多くの入札参加機会や受注機

会を確保するよう取り組んでいます。

県の工事成績を有している入札参加資格者は必ずしも多くはないということもあり、このような取組に加えて、工事成績を入札参加要件とすることは、入札参加者に極端な制限を加えることになるということで、適当でないと考えています。

総合評価方式に関しましては、土木工事を中心に取り組んでおり、設備工事では4件の事例があり、この結果を総括すると、設備工事は各種メーカーが規格に基づいて製作した材料や機器を組み合わせで発注図面で要求された機能・性能を実現させる工事であり、材料の種別、施工方法、施工基準、機器性能等は共通仕様書並びに発注図面で規定され、技術的提案や創意工夫の余地が少なく、ややもすると提案内容が画一化されると思慮されます。また、仮設工事や工事工程は建築工事業者に委ねられており、設備工事業者での工夫の余地は少ないと考えております。

一方、提案や創意工夫が採用されれば、それらを詳細に履行確認資料として作成し、施工記録として報告しなければならず現場では手間暇がかかり、受注業者の負担が大きいと判断します。土木では総合評価方式が推進されていますので、設備工事でも何らかの形でこの制度を推進していく必要があると考えており、その際にはお知恵をお借りしたいと思っております。

4 分離発注について (電業協会)

県においては、これまで分離発注の推進についてご配慮いただいておりますが、県内市町では遅々として進まない状況にあり、一般社団法人日本電設工業協会の調べによると、兵庫県の市町の分離発注の状況は全都道府県中40番目で最下位グループに属しています。そして、その要因は市町に設備の専門家がおらず、発注体制が十分でないことが障害になっているものと思われます。

県当局におかれましては、機会あるごとに関係部局を通じて市町に対して分離発注を進めるよう要請していただいているところですが、今後とも市町において分離発注がスムーズに採用できるよう各般のご援助、ご指導をお願いします。

回答 契約管理課・設備課

公共工事の分離発注については、私どもも出来る限りのことをやらないといけないという意識はもっておりまして、今年5月に開催した兵庫県公共工事契約業務連絡協議会でも、入札・契約の適正化指針で、設備工事等に係る分離発注については、専門工事業者の育成に資することも踏まえつつ活用に努めるものとすると言われていたので、市町でもできる限り分離発注に努めるようお願いしています。直接強制することはできませんので、このような形をお願いしております。

設備工事等に係る分離発注について、専門職がそもそも少ないという問題がありますが、設備担当者会議の際に、分離発注を適切に実施するよう要請しています。

5 一般社団法人移行後の対応について (電業協会)

当協会では、公益法人制度改革が施行されてから公益社団法人への移行に向けた検討を行ってまいりましたが、公益目的事業の50%ルール等の認定要件をクリアするのは難しいこと等から、公益社団は断念し一般社団への移行に向け、現在、取り組んでいるところです。

しかしながら、先般近畿の6電業協会で組織する連絡協議会において、滋賀県電業協会は公益社団の認定をとるよう滋賀県の担当部局から要請されているとの話がありました。当協会は一般社団法人へ移行する予定ですが、各府県によって公益認定の扱いが違うのでしょうか。

なお、当協会としては一般社団移行後も、県下全域を活動範囲として会員の利益のための協会として共益事業を中心として、インターンシップの受け入れや県管理河川等公共施設愛護活動などの社会貢献活動等、必要な公益的な事業も併せて全県的に展開していくこととしています。

県におかれてましては、引き続き、これまで同様の対応をお願いしたいと存じます。

回答 設備課

公益法人制度の改革に対しまして、電業協会、空

衛協会共に一般社団法人へ移行する予定であると聞いておりますが、県との関係は、特に変わることはなく、従来と同様の対応を行いたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

6 メガソーラー構想への参画について

ソフトバンクの孫社長が提唱した、メガソーラー(大規模太陽光発電所)の建設に向けた自治体との調整組織である「自然エネルギー協議会」が、今年13日に設立され、井戸知事が連合長である関西広域連合も参加されています。

また、三井物産も東日本大震災の被災地において、メガソーラーを建設する方針を決定したと伝えられるなど、「脱原発」の機運が高まる中で自然エネルギーや再生可能エネルギーの事業化の動きが着実に広がっています。

自然エネルギーや再生可能エネルギーの利用促進が今後急務となると思われませんが、当協会としてもこの利用促進の一翼を担うことが出来ればと考えていますので、兵庫県内にメガソーラーが設置されるのならば電業協会の参画についてご検討願います。

回答 設備課

7月13日に秋田市内で第1回総会が開催され、正式に発足することとなった「自然エネルギー協議会」については、兵庫県も関西広域連合の構成メンバーとして参画しており、担当課(温暖化対策課)では、自然エネルギーの普及・拡大に向けた政策提言や先進的取り組み事例などの情報交換、情報共有を行いながら、その普及促進を図っていくことが重要と考えています。

「メガソーラー構想」については、現在、ソフトバンク社を中心に全国で10カ所の適地の検討が進められていますが、再生可能エネルギー法案の成立が不透明であることやソフトバンク社の具体的な事業フレームが検討段階であることから、他の民間企業の参画手法なども含め、今後のソフトバンク社からの具体的な提案を踏まえ、県として必要な対応を検討したいと担当課(政策調整課)では考えています。

7 「人間サイズのまちづくり賞」の 対象範囲拡大について

この賞は、参画と協働による人間サイズのまちづくりを推進するため、

- (1) 安全に安心して暮らすことができるまちづくり
- (2) 地域への愛着をはぐくむ魅力あるまちづくりに顕著な功績のあった団体又は個人等を顕彰する制度となっており、両協会も後援団体として受賞者を顕彰し普及に協力しております。

いま、環境問題とりわけ地球温暖化防止、低炭素社会づくりは井戸県政においても大きな施策であり、それらは電気・設備業界の専門分野でもあります。太陽光発電、節電、節水の省エネルギー機器の導入、雨水、中水の利用設備の導入、商店街等のミストなどの自然冷房の導入の取り組みなど地球温暖化対策に貢献した分野も表彰対象として、新たな分野を設けて頂くようこの制度の拡大をお願いしたくご検討いただきたいと思っております。そして、我々会員企業が受賞した場合は、現行同様に、技術・社会貢献評価の加点対象にして頂くようお願い致します。

回答 設備課

担当の都市政策課に照会しましたが、まちづくりにおいて地球温暖化の防止や低炭素社会づくり等の環境対策は重要であると認識して、「人間サイズのまちづくり賞」では、「まちなみ建築部門」においてヒートアイランド対策に取り組んでいる建築物や「まちづくり活動部門」において環境の保全と創造を行うまちづくり活動を表彰対象の事例としているとのことです。

審査にあたって、環境に適合した機器・設備の導入や環境へ配慮したまちづくり活動については重要な評価点として受賞者の選考を進めているところです。今後も協会の皆様には数多く応募していただきますよう普及にご協力をお願いいたします。

住宅建築局長

審査に上がってくるものは、エコに関するものよりデザインに関するものが多いという傾向がありますが、先導的な取組を評価する賞ですので、太陽光発電設備を屋上に乗せただけでは先導性が豊かな取

組ということにはなりません。施主さんに更にひと工夫ふた工夫凝らして頂くようお願いして頂き、省エネなどエコに関する取組についても盛んに応募して頂きたい。

関連意見（空衛協会）

節水は1L当たり年間0.98KWの節電になるという試算があり、私たちが(株)日本空調衛生工事業協会に節水型の機器の利用を標準仕様書に取り入れるよう提案しているところです。

エコアクション21については、社員全員の取組意識も変わってきており、冷房と除湿を比べると冷房の方が電力を消費しないので、家に帰っても、除湿ではなく冷房を使うようになっています。エコアクション21に取り組んでよかったと思っています。

回答 設備課

我々も公共建築工事標準仕様書については、その改正の動向に注目していきたい。

○ 閉会あいさつ 松本 啓朗 住宅建築局長

途中、協議のため離席させていただきました。生の情報を聞かせて頂くことは県政推進の上で大変参考になります。例えば前回の意見交換会で、東日本大震災後の資材の高騰や逼迫の状況を聞かせて頂いて、参考になりました。このような懇談会に限らず、引き続き皆さんとは日頃から情報交換を密にさせていただきたいと存じます。併せて、ますますのご清栄を祈念致しましてご挨拶いたします。



松本局長挨拶

地区懇談会

会長、副会長など協会役員出席の下、協会を取り巻く環境や運営方針を説明し、会員から直接協会運営に対する意見・要望をいただくと共に、会員間の交流を図るため、2月から3月にかけて県下各地区で懇談会が開催されました。

事務局から、①協会再生計画の推進状況、②平成

23年度の事業計画、③兵庫県の入札・契約制度と社会貢献活動について、④新社团法人への移行について説明を行うとともに、懸案事項等の解決に向けた意見交換を行いました。

それぞれの開催状況は次のとおりです。

地区名	開催日時	開催場所	出席	出席役員等
神戸	平成23年3月18日(金)	神戸市男女共同参画センター	20	会長・平井副会長、専務理事
阪神南北	平成23年2月15日(火)	尼崎市はなみずき	17	会長、専務理事
東中播磨	平成23年3月8日(火)	姫路商工会議所	19	会長、小山副会長、専務理事
北播磨	平成23年3月16日(水)	滝寺荘会議室	11	会長、平井副会長、専務理事
西播磨	平成23年2月23日(水)	相生市民会館	6	小山副会長、専務理事
但馬	平成23年3月28日(月)	白菱電気設備(株)会議室	7	会長、専務理事
淡路	平成23年3月14日(月)	(株)国益電業社会議室	3	
県外	平成23年3月3日(木)	協会事務局	4	会長、専務理事



神戸地区懇談会



阪神南北地区懇談会



東中播磨地区懇談会



北播磨地区懇談会



西播磨地区懇談会



但馬地区懇談会



県外地区懇談会

行政機関への協会活動PR

当協会活動を県民局長や土木事務所長など行政機関に周知するため、協会幹部や地区会員が各県民局を訪問し、情報交換を行いながら協会活動のPRを行っています。

今回は、平成22年度末に次の4県民局を、23年度には新しく県民局長が代わられた1県民局の計5県民局を訪問し、特に県行政と関連の深い次の項目に

ついて、県民局幹部の理解を求めました。

- ① 県との防災協定の締結に基づく機能復旧対策業務応援
- ② 県管理河川等愛護活動やインターンシップの受け入れ及びこども110番の車パトロール事業など社会貢献活動実施状況の報告
- ③ 分離発注が行われていない市町への指導依頼

年度	地区名	訪問日	県民局対応者	協会側訪問者
22年度	阪神南	平成23年2月14日	中西一人阪神南県民局長 尾崎幸忠西宮土木所長	会長、小坂常任理事、専務理事
	神戸	平成23年3月2日	山内康弘神戸県民局長 前田強神戸土木所長	会長、平井副会長、大川常任理事、 合田常任理事、池田理事、専務理事
	中播磨	平成23年3月14日	網谷喜明中播磨県民局長 榊原敏夫姫路土木所長	会長、小山副会長、中谷理事、 専務理事
	但馬	平成23年3月28日	藤井隆但馬県民局副局長	会長、田中理事、専務理事
23年度	阪神南	平成23年11月24日	藤田隆司阪神南県民局長 杠典英西宮土木所長	会長、小坂常任理事、専務理事



阪神南県民局



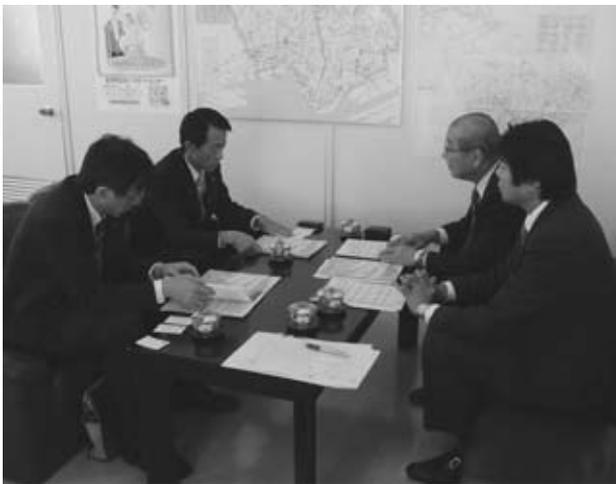
神戸県民局



中播磨県民局



但馬県民局



阪神南県民局

また、阪神南県民局を訪問した平成23年2月14日に会長他3名が西宮市役所を訪れ、河野市長と本井

副市長に陳情書を手渡し、分離発注の継続について要望を行いました。



西宮市

永年勤続優良従業員表彰

永年勤続優良従業員表彰は、会員企業に永年にわたり勤務され、勤務成績良好で他の模範となる者を対象に表彰する制度です。

表彰の対象者は、当協会の会員企業に勤務する者で次の3つの条件を満たす者です。

- ① 勤務成績良好で、他の模範と認められる者
- ② 平成22年10月1日現在において、満45歳以上で、かつ、会員企業に25年以上継続して勤務する者
- ③ 正社員又は週30時間以上勤務の非常勤の従業員各会員から推薦のあった候補者を選考委員会及び

理事会で厳正に審査の結果、次の7名を受賞者として決定し、平成23年1月12日（水）第56回通常総会において西村会長から表彰状と記念品が手渡されました。

(受賞者)

横野幸三（尼崎電機㈱）、津田芳之（㈱小川電設）、小寺八重子（コガセ工業㈱）、豊谷茂樹（西部電工㈱）、尾崎行輝（ダイトウ電気工事㈱）、上村督正（藤井電機㈱）、木村俊一（ミナト電気工事㈱）の各氏



表彰式

技術講習会

経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員が、いずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習を行い、会員の技術力のアップを図るため、計画的に講習会を開催することとしています。

本年度は（一社）日本電設工業協会の人材確保・育成の補助メニューを活用した講習会と関西電力㈱の担当者による講習会の2コース実施いたしました。



角講師講義

第1回は、「電気設備機器の耐震設計・施工」をテーマに取り上げました。講習会は平成23年7月2日（土）午後1時30分から約3時間、神戸市中央区の兵庫県民会館303会議室で行い、講師は日電協から派遣されたA、S技術士事務所所長の角耀氏にお願いしました。テキストは日電協発行の「建築電気設備機器の耐震設計・施工マニュアル」から必要箇所を抜粋した資料を使用し、別途講師が用意されましたパワーポイントを中心に説明が行われました。

土曜日の午後にもかかわらず、30名の定員に対し、会員企業から33名の参加がありました。

第2回は、「東日本大震災による関西電力㈱の対応と今夏の電力需給状況について」をテーマとし、平成23年7月25日（月）午後1時30分から1時間20分、姫路市民会館第1教室で開催しました。

講師は関西電力㈱のチーフマネージャー兼総務部長の吉田善夫氏にお願いし、20名の参加がありました。パワーポイントを使用して、関西電力を始めとする10電力会社の電力供給施設の概要や東日本大震災以降の安全対策及び今後の電力需給状況等について懇切丁寧に説明して頂きました。



第1回技術講習会



第2回技術講習会

施設見学会

電気設備の関連施設などの見学を行い、最新技術情報の習得を図るとともに、会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会主催による施設見学会が開催されました。今年度は淡路島内の施設を見学することとし、C E F南あわじウインドファーム(株)の風力発電と大鳴門橋記念館及び淡路市が運営するあわじメガソーラー1の施設見学並びに千年一酒造(株)の酒蔵見学を行いました。

総勢33名がこの見学会に参加し、平成23年10月26日(水)8時30分明石駅前を出発しました。

最初に、南あわじ市のC E F南あわじウインドファーム(株)を訪問し、風力発電施設を見学しました。

この風力発電施設は平成19年8月に設置され、15基で37,500KWの出力があり西日本最大級の規模であるが、現在の売電価格では経営上厳しいとの説明がありました。



南あわじウインドファームで説明を聞く参加者



風力発電設備



風力発電機の下部

次に、大鳴門橋記念館のうずしお科学館を見学し、同館内のレストランでの昼食の後、淡路市を訪問し、午後1時から同市が運営するあわじメガソーラー1の施設を見学しました。

メガソーラー1は4億6千万円の事業費をかけて、温暖で降水量の比較的小さい淡路の気候特性を活かし淡路市役所に隣接したスペースに平成22年11月に設置し、1,000KWの出力規模があり、市役所庁舎を始めとする3施設に送電しているとの説明がありました。

この後、淡路市久留間の千年一酒造(株)を訪れ、同社の事業概要の説明と酒蔵見学の後売店での試飲を楽しみました。

最後に、淡路サービスエリアのハイウェイオアシスに立ち寄り、見学会は和やかな雰囲気の中帰路につきました。

帰りの車中で行った参加者に対するアンケートでは、スケジュール的にも余裕があり、5施設とも有意義な見学対象であったと好評でした。



メガソーラー1の説明を聞く参加者



ソーラーパネル



試飲する参加者

1 級電気工事施工管理技術検定受験対策講習会

施工管理技術検定講習会を当協会主催で開催するようになって5年目、前回に引き続き会員外にも講習会受講機会を開放するため、兵庫県電気工事工業組合会員にも呼びかけを行いました。

講習会は昨年同様、電気設備業者の従業員が参加しやすい条件整備に留意するほか、講師は引き続きパナソニック電工創研(株)にお願いしました。開催状況は次のとおりです。



1 級学科開講挨拶

(学科)

講 習 日	内 容	場 所	人 員	講 師	
第1回	4月2日(土)	兵庫県中央労働センター 301号	19名	パナソニック電工創研(株) 田中 英二氏 湯川 正氏	
第2回	4月3日(日)				開講式・オリエンテーション、電気理論・電気機器
第3回	4月9日(土)				構内電力設備・構内通信設備
第4回	4月16日(土)				消防法・防災設備・照明関係設備・発電変電設備
第5回	4月23日(土)				発電変電設備・送配電設備・機械関連・土木建築関連
第6回	4月29日(祝)				施行計画・工程管理・品質管理・安全管理・建設関連法
第6回	4月29日(祝)	電気関連法・労働関連法・その他関連法、終講式			

(実地)

講 習 日	内 容	場 所	人 員	講 師
第1回	9月10日(土)	兵庫県中央労働センター 201号	29名	田中 英二氏 湯川 正氏
第2回	9月17日(土)			
第2回	9月17日(土)			記述問題(添削)

講義はいずれも午前9時から午後5時まで



熱心に耳を傾ける受講生



田中講師による説明

安全衛生推進大会



西村会長挨拶

平成23年7月14日（木）午後2時から兵庫県民会館11階「バルテホール」において、平成23年度安全衛生推進大会が会員約120名の参加のもと、盛大に開催されました。

この大会は、会員の安全活動を強力に推進し、会員及び従業員の安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため毎年実施しているものです。

まず建設業殉職者及び当協会関係物故者並びに東日本大震災の犠牲者の冥福を祈り黙祷を捧げた後、西村善明会長の挨拶に続いてご来賓の兵庫労働局労働基準部長（代理：丸山拓之安全課長）及び兵庫県土整備部住宅建築局長（代理：小寺泰雄設備課長）からご祝辞を頂戴しました。



ご来賓

続いて、小坂技術・安全委員長から安全衛生優良
工事表彰の選考経過について報告があり、表彰式に
移りました。表彰は、国・県・市等から直接受注し、
平成22年度中に完成した県内の工事で、安全管理体
制が確立して有効に運営され、工事期間中無事故・
無災害で、かつ、施工技術が優秀なものを対象とし
て、17名の現場代理人に西村会長から表彰状及び記
念品が手渡されました。

引き続き、出席者を代表して旭電気工業株式会
社の岸孝信さんが安全宣言を行い、小山副会長の閉会
のことばで第1部は終了しました。

休憩時間を挟んで開催された第2部の安全講話
は、福田達氏から「福島原発事故を考える」と題し
て、現在国民の最大の関心事である原子力発電につ



表彰状授与

いて、専門家の立場から、動力炉・核燃料開発事業
団等在職中の経験を踏まえてわかりやすい説明をい
ただくとともに職場での安全対策の取り組みについ
て解説いただきました。



安全講話

MASPRO

3つの業界No.1を実現。

アンテナはここまで取付けやすくなりました。

- 薄さ** 業界No.1 58mm
- 軽さ** 業界No.1 約2.3kg
- 利得** 業界No.1 7.7~9.6dB

屋外用
水平偏波用

壁面取付用
地デジアンテナ
U2SWL20
オープン価格

壁面取付用
地デジアンテナ
U2SWL20B
プースター内蔵
オープン価格

高利得 NEW
7.7~9.6dB
20素子
アンテナ相当

プースター内蔵
総合利得約5
24~32dB
アンテナ相当 7.7~9.6dB
20素子
アンテナ相当

SKY WALLIE

スカイウォーリー

玄関を開ける前に 侵入者の有無を 知らせてくれる!

えっ! 私の部屋に
誰がいるっ!!



本体



リモコン

本体・リモコンセット
HSRC2-SET NEW
オープン価格

外観寸法
本体: 107(H) × 109(W) × 46(D) mm
リモコン: 75(H) × 37(W) × 19(D) mm

電波で未来を考える
電工
www.maspro.co.jp

※1 2011年11月現在、平面型壁面取付用UHFアンテナにおいて、コネクタ一部、金具固定部を除く。(マスプロ電工調べ)

※2 2011年11月現在、20素子相当の平面型壁面取付用UHFアンテナにおいて、(マスプロ電工調べ)

※3 実力値

※4 地上デジタル放送で、主に使用されているch.13~30の利得で、当社20素子アンテナと比較。

※5 アンテナ利得+プースター利得

お問合わせ: 姫路営業所 姫路市飾磨区構4-64 TEL(079)234-6669 神戸営業所 神戸市中央区布引町2-1-7 ソラービル1F (078)231-6111

平成23年度 安全衛生優良工事表彰受賞者名簿

	施工会社名	受賞者名 (現場代理人)	工事名	発注者名
1	旭電気工業(株)	きし たかのぶ 岸 孝 信	須磨保育所建設電気設備工事	神戸市
2	中島電機(株)	やま したもとふみ 山 下 基 文	姫路市立書写養護学校校舎大規模改修等(電気)工事	姫路市
3	庄野電気工事(株)	やま ざきひろふみ 山 崎 博 文	宝塚ベガホール舞台調光設備改修工事	宝塚市
4	早水電機工業(株)	はし ほとこうじ 橋 本 浩 治	(国)178号余部道路 余部道路トンネル照明設備工事	兵庫県
5	イトデン(株)	くろ だ たか し 黒 田 貴 司	網干市民センター太陽光発電設備設置工事	姫路市
6	杉本電気工事(株)	い とう ひさ し 伊 藤 寿 史	夢野の丘小学校新築電気設備工事	神戸市
7	コガセ工業(株)	ふく い たか し 福 居 天 志	国道2号道路照明施設維持補修工事	国土交通省 近畿地方整備局
8	東洋電気工事(株)	の ぐち じゅん 野 口 遵	(国)178号余部道路 余部道路トンネル照明設備工事	兵庫県
9	東和電気工事(株)	おか だ あつ ゆき 岡 田 篤 幸	県営明石大久保住宅第2期電気設備工事	兵庫県
10	白菱電気設備(株)	みや がき けん じ 宮 垣 憲 次	ものづくり大学校(仮称)教育研修施設太陽光発電設備工事	兵庫県
11	(株)ニューテック	わか まつ こう じ 若 松 浩 二	本庁舎中館空調改修工事のうち電気設備工事	尼崎市
12	オーケイ電設(株)	はや せ はち ろう 早 瀬 八 郎	市島雨水排水ポンプ改修工事(電気・土木)	丹波市
13	尼崎電機(株)	ゆ ぐち ひさ お 柚 口 久 生	山手幹線芦屋川横断工区照明設備工事	兵庫県
14	(株)しんこう	み くす まさし 三 楠 仁	東灘警察署太陽光発電設備工事	兵庫県
15	共栄電器工業(株)	やす だ じゅん いち 安 田 順 一	兵庫県警察本部省エネ化改修電気設備工事	兵庫県
16	藤井電機(株)	まえ だ ゆう や 前 田 裕 也	神戸大学(住吉1)附属中等教育学校体育館新営電気設備工事	国立大学法人 神戸大学
17	西部電工(株)	やま ほと のぶ あき 山 本 信 昭	姫路市立前之庄小学校太陽光発電設備設置等工事	姫路市

以上 17名

こども110番の車パトロール事業

兵庫県の刑法犯認知件数は、全国的にも多く、その背景の一つに、地域社会の帰属意識や結びつきが薄れ、不審者が現れた場合などに互いに知らせあうといった地域社会がこれまで培ってきた犯罪防止機能の低下があると見られています。

こうしたことを踏まえ、地域社会を構成する様々な主体が連携を深め、犯罪の防止、その他安全で快適な暮らしを実現するための活動に取り組むことにより、安全で安心して暮らすことができる地域社会を目指す「地域安全まちづくり条例」が平成18年4月1日に施行されました。

当協会としても、積極的にこの活動に取り組んで

いく必要があるとの認識のもと、特に、近年こどもに対する凶悪又は卑劣な犯罪が多発している現状を考慮して、平成20年3月「こども110番の車」パトロール事業を発足させました。

協会独自でデザインしたステッカーを作成し、会員企業の事業用車輻に貼付してパトロールしていただくもので、現在131社が参加しています。

また、「ひょうご防犯まちづくり推進協議会」にも加入して、行政機関や他団体と協調した運動を展開し、犯罪のない安全で安心な兵庫県の実現に努めています。



DAIKIN

分解力で選べば、
光速ストリーマ

分解力とは光速ストリーマにより、フィルターに捕獲したカビ、ダニ(フン・死骸)、花粉などのアレル物質を分解することです。

10年後でも
高い集塵効率!
新・電気集塵方式
ACK70M

STREAMER

ACK70M

New

加湿空気清浄機
広いリビングにも満足のハイグレードタイプ

加湿空気清浄機
うるおい光クリエール
ACK70M-W(-T)
(-W) ホワイト (-T) ビターブラウン

パーソナルニーズに対応したコンパクトタイプ

加湿空気清浄機
うるおい光クリエール
ACK55M-W(-P)(-T)
(-W) パナホワイト (-P) ストロベリーピンク (-T) ココアブラウン

ダイキンHVACソリューション近畿株式会社
〒556-0011 大阪市浪速区難波中 2-10-70 なんばパークス パークスタワー TEL 06-6647-1377

ダイキンコンタクトセンター
お客様総合窓口

0120-88-1081
全国共通フリーダイヤル(営業時間:24時間365日対応)

「ダイキンエアコン」ホームページ
<http://www.daikin.co.jp/aircon/>

暴力団追放対策講習会

近年、暴力団排除機運の高まりと強力な取締り等によって暴力団は社会から孤立しつつありますが、民事介入暴力、金融、不良債権関連事犯等を多数引き起こすなど資金源は依然として活発であり、社会経済情勢の変化に対応して一層多様化、巧妙化の傾向を強め、市民社会特に建設業界においては相変わらず大きな脅威になっています。

こうした暴力団の現状をよく認識した上で、不当要求等に屈しない暴力団への対応が必要であります。そのため、暴力団追放対策講習会を平成23年2月16日（水）午後2時から神戸市教育会館404号室において開催いたしました。

始めにDVD「社会VS暴力団」を鑑賞し、不当要求の具体事例を認識いただいた上で、公益財団法人暴力団追放兵庫県民センター専任講師の浦上義弘氏から「暴力団の現状と山口組について」と題して講演いただきました。浦上講師は平成16年に兵庫県警察本部暴力団対策第二課を最後に退職された県警



会場いっぱいの講習会参加者

のOBで、在職中のほとんどを暴力団対策担当の刑事として取り締まりの第一線でご活躍されており、その豊富な経験をもとにお話しをいただきました。この講習会には、会員企業から108名が出席し、約2時間熱心に聞き入っていました。



会長挨拶



浦上講師講演

インターンシップの受け入れ

高校生の教育活動の一環として、産業の現場などで学習内容や進路に関連した就業体験を実施し、生徒が目標を持って主体的に進路選択ができるようにするとともに、生徒に夢を実現する力を身につけさせ、電気設備業界の次代を担う人材を育成するため、平成12年度からインターンシップの受入を行っています。

本年度は、次のとおり兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気系部会長（県立兵庫工業高校長）から依頼のあった6校、44名を会員会社24社で受け入れ、生徒は各社の指導のもと、総務、設計、積算、現場管理、現場作業などの業務を体験しました。

1 県立相生産業高等学校 電気科

- ア 人 員 2年生2名
- イ 受入期間 平成23年8月3日(水)
～5日(金)の3日間
- ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
播州電業株式会社	大角 康平、大西 克典
1社	2名

エ 生徒の感想

僕は、初めて電気工事会社へ行きました。今回は、インターンシップとして電気工事会社の仕事を学ぶということでした。

播州電業という電気工事会社へインターンシップに行きました。



初日はとても緊張しました。初めに、専務さんから電気工事会社のお話を聞かせてもらいました。専務さんは、「電気工事の会社でもいろんなものがある。」と言われていました。僕は、専務さんのお話を聞き、自分はどんな電気系の会社か合っているのか考えながら話を聞きました。

その後、ある店舗の図面を見て、この中から見積書を作る作業をしました。まずケーブルの長さの合計を種類ごとに書き出し、照明器具を書き出しをしました。

お昼からは、書き出したものから内訳書をエクセルを使い作りました。作りながら会社の利益も考えながら作らなくてはならないし、電工費という職人さんの作業代などを考えながらするのがとても難しかったことです。

2日目では、明石の県営住宅へ行きました。まず初めに県住の見学をしました。現場へ来たのは初めてでちょっと怖かったけど楽しくもありました。ほとんど完成していて器具つけなどをしました。10時から始めてすぐにお昼がきてびっくりしました。

お昼休憩では、現場の方がお話をしながらご飯を食べていました。現場の方は、「資格はたくさんとっていた方がいい。」と言われていました。また、「現場の楽しいことは、自分たちが作った建物が地図に載ると、知り合に自慢できるしうれしい。」と言われていて、とてもかっこいいなあと思いました。

お昼からも器具つけをしました。最後の方に最上階へ行き、器具をつける穴だけあけました。ベランダに出ると、明石海峡が見えとてもきれいななあといい、これも現場でしか見れないものだと思います。

3日目にはもうすっかり緊張がほぐれていました。3日目は、自分でCADを使い自分で設計をして見積を出す作業をしました。CADを使うのは初めてで、始めは苦戦しながらやっていると

んだんと楽しくなってきました。

この3日間のインターンシップでは、播州電業のみなさんにやさしくしてもらい、楽しく学ぶことができました。このインターンシップで自分のなりたい職業がみつげ出せそうです。

(大西克典)

2 県立豊岡総合高等学校 電機応用工学科

ア 人 員 2年生3名

イ 受入期間 平成23年8月8日(月)
～10日(水)の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
白菱電気設備株式会社	奥 勝哉、八木田萩仁
藤井電機株式会社	大橋 正佳
2社	3名

エ 生徒の感想

今回のインターンシップでは多くの経験ができました。沢山の人の話が聞けたり、私自身の成長に繋がる体験になりました。この3日間でクラスのみならず1歩も2歩も先に進めたように思います。

インターンシップでは、学校の授業では経験することができないこととして、事務所や各職場での雰囲気とか緊張感、先輩方の話し方など私には良い経験の3日間になりました。

他の業種でのアルバイト経験はありましたが、その時とは違う緊張感と興味をもって臨みました。個々で責任を持つことと注意して周りを気づかうことで、現場が仕事が順調に進むことになるということなどを含んだ話であり、とても勉強に



なりました。体験しないと何も分からないということを、学校の後輩に、インターンシップは経験したほうが良いと伝えたいです。

最初はインターンシップの3日間は長いと思っていましたが、実際にやってみるとあっという間に3日目が過ぎてしまい、少し物足りなさを感じました。後2～3日はあったほうが良いような気がしました。

これからは、今回の経験を活かして私自身の進路で活かせるよう努力を怠ることなく頑張っていきたいです。ありがとうございました。

(八木田萩仁)

3 県立龍野北高等学校 電気情報システム科

ア 人 員 2年生6名

イ 受入期間 平成23年8月22日(月)
～24日(水)の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
尼崎電機株式会社	溝脇 嘉則
姫高電機株式会社	竹田 一哉、内海 琢也
西部電工株式会社	平松 翔太
株式会社北山工商	久保 裕貴、当瀬 裕規
4社	6名

エ 生徒の感想

今回、インターンシップで姫高電機に行かせてもらって、仕事の大変さを知りました。

まず第一に失敗することへの恐怖でした。インターンシップの2日目に家の壁のボックス開口作業をさせていただきました。その時、初めて失敗することへの恐怖を感じました。失敗をすればその分だけ誰かに迷惑をかけてしまうことを、この作業をさせてもらい学びました。けれど、その緊張感の中で作業を完了させた時には、とても達成感がありました。

次に、今まで仕事と言えば、なんとなく仕事をしてお金を貰うと言う適当な考えしかありませんでした。しかし、このインターンシップで、仕事と言うのはとても大きくて重いものなんだと実感しました。もちろん技術面だけでなく、精神面でも、



社員の方々からたくさん指導していただいたおかげで安心して仕事に取り組めるようになりました。

3日間、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。(竹田一哉)

4 県立尼崎工業高等学校 電気科

ア 人 員 2年生3名

イ 受入期間 平成23年8月23日(火)

～25日(木)の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
株式会社ニューテック	小幡 銀矢、横道 圭祐
共栄電器工業株式会社	松川 侑子
2社	3名

エ 生徒の感想

初めはインターンシップに参加するか迷っていたけど、自分は女子ということもありインターンシップを通して働くということを学べたらいいなと思い、参加することを決めました。

最初はどうな企業でどんなことをして、どんな人達がいるのかなど不安でした。でも、実際に行ってみると企業の人達はとても優しく接してくださ



いました。とても嬉しかったし、緊張がほぐれました。

1日目は「北部浄化センター」というところに行きました。全員男性だったので、初めは気まずい感じでしたが、みなさんととても楽しくて優しい人達でした。体験では主に修繕工事や現場操作盤の結線等、学校では体験できないことをしました。わからないことも教えていただきました。たった1日なのにとっても寂しく感じました。

2日目はCADの体験をしました。CADはやってみたいと思っていたので楽しみにしていました。でも、説明を聞いていると操作手順の覚えるところが多くて苦戦しました。目もすごく疲れしました。でも、CADを教えてくれた方が「なかなか早いね。」と言ってくださいました。そのこともあり、2日間で「プロット図」と「配線図」を完成させることができました。

この3日間で思ったことは、やはりお金をもらう分、責任を持って自分の仕事をしなければならないので、一言で言うと「大変」でした。

「働く」ということは、1人の社会人として責任を持たなければなりません。また、働いてから学べることもたくさんあると思います。そろそろ進路のことも考えないといけません。私は自分の中で「やりがい」のある仕事に就くことができたらしいなと思っています。

とても充実した3日間でした。(松川侑子)

5 県立兵庫工業高等学校 電気工学科

ア 人 員 2年生26名

イ 受入期間 平成23年10月25日(火)

～27日(木)の3日間

ウ 事前安全講習会 平成23年10月13日(木)

県立兵庫工業高等学校

エ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
旭電気工業株式会社	長尾 宗哲、涌嶋 大輔
ヒカリ電業株式会社	藤井 大樹、長谷川良太
野田電気株式会社	栗原 良太、古賀 設元
西部電気建設株式会社	打田 拓也、大里つづり

ミナト電気工事株式会社	小川 和也、中川 太基
株式会社カデックス	内田 練、松本 直也
新電機工業株式会社	大北 一樹、早川 裕二
ダイトウ電気工事株式会社	梅本 涼平、末吉 良介
東洋電気工事株式会社	仲門 光輝、森 健一郎
杉本電気工事株式会社	木下 雄介、中山 翔太
船木電気工業株式会社	坂元 瑛弥、森本 拓海
株式会社三宅電気工事	梅村 翔一、山口 拓哉
早水電機工業株式会社	笠原 雅徳、住本 竜大
13社	26名

オ 生徒の感想

私は今回、インターンシップで就業体験という、普段では出来ない貴重な体験をさせていただき、今後の進路を考えるにあたって、とても重要な経験を得ることが出来たと思います。

また、現場での配線作業を見させていただいたのですが、私が受験した第二種電気工事士の技能試験では、机の上での配線作業であり、それすらとても苦勞していましたが、会社の方々は足場の不安定な脚立の上で、工具を自在に操り素早く配線しておられ、これぞプロの技だなという事を感じました。さらに、現場の電気設備の説明や最新機器の見学をさせて戴き、良かったと同時に新しい機器に適應する能力も必要だと感じました。

また、「一人を二人にすることは出来ないが、二人を三人にすることは出来る。そういったことが出来る人を会社は望んでいる」という言葉をいただき、感銘を受けました。私もそのような特殊な能力を身に付けることが出来るように、日常生活でも意識していきたいと思っています。

この経験から、より己の向上に努めたいと考え



ます。今回のこのような機会を与えて下さった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

(早川 裕二)

6 県立洲本実業高等学校 電気科

ア 人 員 2年生4名

イ 受入期間 平成23年11月21日(月)

22日(火) 24日(木)の3日間

ウ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
株式会社国益電業社	不動 聖司、森谷 友裕
株式会社谷電気	内橋 諒平、越田 聖也
2社	4名

エ 生徒の感想

僕は国益電業社様に、11月21日から11月24日の3日間お世話になりました。初めての出社の時とても緊張し、どんな雰囲気の会社なのか、前日からドキドキしていました。入社したときとても明るい雰囲気でむかえてくれました。

最初、この会社は電気工事関係しかしないと思っていましたが、土木に関する工事もたくさんあったことに驚きました。それらを作業していく上で安全第一で作業をしないといけないと言うのを深く感じました。電気は見えないし、どこで感電してもおかしくないなので慎重に作業することが必要となると強く心に残っています。

社会で一人前に仕事をするには、安全第一、丁寧な作業、正確な出来栄が必要であることがわかりました。

今後ともより一層努力して、実社会で通用する技術者になりたいです。(不動聖司)



高校生ものづくりコンテスト審査員の派遣

兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気系部会では、毎年工業高校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技能の向上を図るとともに、専門家からの講評や、プロとしての心構えを学び、今後の電気・電子教育の資質の向上を目指すため、「電気系ものづくりコンテスト」を開催しています。

今年度は、次の日程で第10回目の兵庫県大会が開催されましたが、当協会では、人材育成事業の一環として、このものづくりコンテストを支援するため、特別審査員を派遣しました。

- 1 開催日時 平成23年7月16日(土)
- 2 開催場所 兵庫県立龍野北高等学校
- 3 大会参加者 14名

- 4 派遣審査員 合屋 和久 氏
(西部電気建設(株)工務部次長)
今村 慎一 氏
(西部電工(株)工事課長)
- 5 立会者 合田 吉伸 経営委員会委員長
- 6 審査結果 (電気工事部門)
優勝 高田 遼佑 君
(兵庫県立兵庫工業高校電気工学科3年)
準優勝 西岡 流星 君
(兵庫県立龍野北高校電気情報システム科3年)
第3位 尾上 猛 君
(兵庫県立小野工業高校電子科3年)
(優勝者及び準優勝者は近畿大会に出場)



熱心に課題に取り組む生徒たち



競技を見守る特別審査員



たけでんはECOの取組みで ソリューションカンパニーを目指します！！

●電設資材 ●住宅設備機器 ●オール電化 ●太陽光発電システム ●空調機器 ●映像・音響・情報 ●産業機器 ●セキュリティ

※たけでんは絶滅に瀕しているシマフクロをECOの推進キャラクターとして環境に取り組んで参ります。

人のために。人からはじまる。


たけでん

営業本部 〒535-0011 大阪市旭区今市1-14-9
PHONE: 06-6954-1525(代)

灘(営) 〒657-0036 神戸市灘区桜口町1-1-4 セントラルプラザ六甲1階
PHONE: 078-854-7071(代)

<http://www.takeden.co.jp>

経営講演会&県有施設設計講習会



西村会長開会挨拶

電気設備業界を取り巻く厳しい環境の中で、会員企業が時代の変化に対応した経営戦略によりこの難局を乗り切るための有益な情報を得ると共に、東日本大震災以後の県有施設の設備設計についての知識を取得するため、平成23年9月28日（水）午後1時30分から神戸市教育会館の501号室において会員企業の経営者や幹部職員約60名参加のもと、経営講演会&県有施設設計講習会を開催しました。

講演会は西村善明会長の挨拶の後、第1部は(株)東京商工リサーチ取締役情報本部長の友田信男氏から「伸ばせる会社・伸ばせない会社～電気工事業界の動向とその危機管理について～」と題して講演をいただきました。

氏は銀行勤務を経て、昭和55年に(株)東京商工リサーチに入社されました。福岡支社情報部長、北九州支店長、本社情報部長、情報部統括部長・上席部長の要職を歴任されまして、平成23年6月に取締役にご就任されました。

この間、景気と中小企業の動向の分析に取り組み、平成19年から財団法人企業共済協会の「企業倒産調査年報」検討委員や、平成23年4月からは参議院経済産業委員会調査室客員調査員を務められる等、幅広くご活躍されています。

厳しい環境下での経営に当たってのヒントや心構えが得られたのではないかと思います。

第2部ではご多用中にも拘わらず、快く講演をお引き受けいただいた兵庫県県土整備部住宅建築局設備課副課長の大川清嗣氏から「東日本大震災と県有施設の設備設計」と題して講演していただきました。

東日本大震災以後の県の設備設計に対する考え方がよく理解出来、参加の会員にとって、これからの電気工事を行う上で貴重な情報が入手できたのではないかと思います。



友田氏の講演



大川氏の講演

経営事項審査改正点の説明会



西村会長開会挨拶

ペーパーカンパニー対策など評価の適正化の観点、現下の社会経済情勢を踏まえた多様なニーズへの対応の観点から、先般所要の改正が行われた経営事項審査の審査基準について、この改正の趣旨、内容を十分理解するため、平成23年3月2日（水）午後2時から神戸市教育会館404号室において会員企業の経営者や担当職員等約50名参加のもと、経営事項審査の審査基準の改正点の説明会を開催しました。

説明会は西村善明会長の挨拶の後、多用中にも拘

わらず、快く講演をお引き受けいただいた兵庫県県土整備部県土企画局総務課建設業室の課長補佐兼建設業係長の北井伸彦氏からご説明をいただきました。

経営事項審査への対応に当たってコンプライアンスがますます重要な時代になっていることがよく理解出来ました。参加の会員にとって、説明を受けた内容には十分留意し、これまで以上にコンプライアンスを意識するいい機会となりました。



説明風景



北井氏の講演

県管理河川等公共施設愛護活動

道路や河川などの公共施設は、それぞれの管理者が維持管理を行うことになっていますが、すべてについて完全に実施することは難しいことです。こうした状況を踏まえ、道路や河川は地域で生活する者の共有財産であるという認識を持ち、クリーンで安全しかも快適に利用できるよう公共施設愛護運動が県下各地で展開されています。

当協会においては、公益法人の原点であるボラン

ティア精神に則り、平成20年度から建設業協会の各支部や県民局と連携して県管理河川等公共施設愛護活動に取り組んでいます。

本年度も地区担当理事が中心になって建設業協会各支部や県民局土木事務所と調整しながら次のとおり事業を行いました。なお、神戸地区においては、昨年度に引き続き協会単独で河川敷の草刈等を実施しました。

地区名	連携建設業協会支部	実施日	場所・作業内容	参加会員	参加人員
神戸		8月3日	河川敷の草刈・清掃	29	45
阪神南	尼崎	6月7日	河川敷清掃	9	17
	西宮	6月1日	道路清掃	9	12
阪神北	伊丹	6月1日	道路清掃	6	12
	宝塚	6月1日	道路清掃	1	1
	三田	6月1日	河川清掃	3	6
東播磨	明石	6月1日	海岸清掃	4	4
	加印	8月2日	河川清掃	13	14
北播磨	西脇	6月1日	路肩草刈	6	12
	加西	6月1日	道路清掃	2	3
	加東	6月1日	道路掃	4	4
中播磨	姫路	11月2日	港・緑地清掃	16	19
但馬	豊岡	6月6日	ゴミの収集・運搬	4	5
丹波	丹波	6月6日	道路・河川除草	2	2
合計				108	156



神戸地区の活動



阪神（尼崎）地区の活動

コウノトリ翔る但馬まるごと感動市への参加



協会PRコーナー

但馬まるごと感動市実行委員会主催の「平成23年度コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」が平成23年11月12日及び13日の2日間、県立但馬ドームで開催されました。この事業は但馬の地域産業が一体となり様々な資源を活用したツーリズムを推進するため「食・物産」と「観光」をテーマとした新たな集客・交流空間を創造しようと数年前から行われているものです。

また、併せて、平成22年10月に世界ジオパークネットワークに加盟が決定した「山陰海岸ジオパーク」の魅力を発信するため“山陰海岸ジオパークフェスティバル2011”が開催されました。

当協会は、県民局の要請に基づき、事業推進のボランティア活動に参加しています。今年は会場管理・清掃を担当し、但馬地区の延8名の会員が協会名の入ったスタッフジャンパーを着用して来場者にゴミの分別指導等の作業を行いました。

また、ボランティア参加団体には間口3間、奥行き2間のPR用ブースが用意され、当協会では三菱電機㈱の協力により、太陽光発電、3D対応の液晶テレビのPRやパンフレット配布を行いました。

当協会のPRとしては、協会の幟旗を設置し、広告用ポケットティッシュを配付し、活動内容の周知を図りました。



会場



協会会員によるゴミの分別指導



大人気の但馬牛の丸焼き

9 3 委員会の24年度の主な取り組み

委員会で平成24年度に取り組む主な事業

24年度に各委員会で取り組む主な事業は次のとおりです。

(1) 総務委員会

項目	内容	実施時期
1 総会・新年名刺交換会（懇親会）	年2回開催	5月・1月
2 理事会	年8～9回開催	
3 地区懇談会	地区担当理事の判断で開催	2～3月
4 行政懇談会	空衛協会と合同で開催	7月
5 意見交換会	空衛協会と合同で開催	年3～4回
6 30周年記念事業	協会設立30年を記念して開催	5月
7 県民局等訪問	局長の交代した県民局を中心に実施	
8 永年勤続優良従業員表彰	会員企業の従業員を対象に1月の総会で表彰	1月
9 会報作成配布	会報No.32を発行予定（25年1月）	1月
10 新団体への移行認可申請対応	一般社団法人への移行	

(2) 技術・安全委員会

項目	内容	実施時期
1 技術講習会	技術力向上を目的として年2回開催	7月・11月
2 施設見学会	年1回開催	10月頃
3 1級（学科・実地）電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の開催	1級電気工事施工管理技士の資格取得のための講習会	学科：4月 実地：9月
4 安全衛生推進大会	安全衛生意識の高揚と特別講話の実施	7月
5 安全災害連絡体制・緊急連絡網訓練	年2回実施	9月・1月
6 こども110番の車パトロール事業	事業参加の会員登録の実施	通年
7 暴力団追放対策講習会	年1回開催	2月

(3) 経営委員会

項目	内容	実施時期
1 工業高校生のインターンシップの受入	兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気系部会長(以下「部会長」という。)の要請に対する対応	8月～11月
2 ものづくりコンテスト特別審査員の派遣	部会長からの要請に基づき派遣	7月
3 第60回電設工業展への工業高校生招待	バスの借上げにより、大阪で開催される電設工業展へ工業高校生を招待	5月
4 分離発注の陳情活動	県民局及び各市町への陳情	2～3月
5 経営講演会の開催	日電協の補助メニューの活用	9月
6 技術・社会貢献活動の充実	県民局からの要請等に基づき参加	通年

青年部会のページ

1 第13回総会

本年度総会は、平成23年4月19日（火）15：30～16：30、神戸市勤労会館2階多目的ホールにて開催され、議事についても満場異議無く、青年部会会則第10条第3項により可決されました。

詳細は以下の通りです。

会員総数：33名

出席会員数：33名（うち書面委任8名）

来賓出席者：＜協会＞ 西村会長

＜新聞社＞ 3名

議 事：第1号議案 平成22年度事業報告の件
 第2号議案 平成22年度収支決算の件
 第3号議案 平成23年度事業計画の件
 第4号議案 平成23年度収支予算の件

2 平成23年度組織構成及び委員会配属

平成23年度の委員会配属は以下の通りとなりました。

部 会 長	副 会 長	委 員 会	委 員 長
今井 良和 (今井電気商会)	藤井 洋平 (藤井電機)	事 業 委 員 会	前田 賢則 (船木電気工業)
	池田 佳隆 (サン電設工業)	総 務 委 員 会	田谷 浩明 (エイデン)
	岡田 亮一 (岡田電工)	渉外交流 委 員 会	高橋 良之 (陵南)

※監査役 平井 正博（ミナト電気工事）

3 ボランティア活動報告

～兵庫県立こばと聴覚特別支援学校～

平成23年7月17日に青年部会の活動計画の一環であります、兵庫県立こばと聴覚特別支援学校の『夏のつどい』開催におけるボランティア活動を行いました。



この活動も青年部会として、11年連続で参加させていただいている活動であり、当日の参加メンバーのなかでは、日興電気工業㈱の大畑さんが初参加致しました。

『夏のつどい』とは、こばと聴覚特別支援学校の夏の行事で、在校生および卒業生を呼んだ夏のお祭りであります。

当日は晴天の中、多くの在校生、卒業生、父兄の方々が参加されておりました。

活動内容としましては、来場者の車誘導や開催中の会場警備などを行い、お祭りのスムーズな進行ができ無事に終了することが出来ました。

毎年のことながら、卒業生による和太鼓、先生方や女子大生ボランティアによるゲームや売店など、楽しい催しが開催され多くの笑顔がありました。このボランティア事業に参加した者も、非常に明るく楽しくできました。

最後には、教頭先生より父兄及び生徒の前で、兵庫県電業協会青年部会の紹介と警備ボランティアのお礼を述べて頂き、兵庫県電業協会青年部会の知名度の向上と、日頃からご愛顧いただいている県民ならびに県施設等への貢献としましては、この活動は十分に意義があると思います。

参加された皆様、本当にご苦労様でした。

4 平成23年度兵庫県県土整備部住宅建築局設備課との懇親座談会

平成23年10月5日（水）14時より、ラッセホールにおいて、毎年恒例になっている兵庫県県土整備部住宅建築局設備課と青年部会との懇親座談会が開催されました。

県設備課からは、小寺課長、大川副課長、電気第1係 井上係長、電気第1係 濱田主査、電気第2係 原係長、電気2係 永富主査、電気第3係 永井係長、電気第3係 九渡主査、講演会の講師として主任技術専門員 長尾氏にお越し頂き、青年部会からは22名が参加、計31名での開催となりました。

今井部会長の挨拶の後、第一部では主任技術専門員 長尾氏より講演をしていただきました。テーマは「東日本大震災に係る応急仮設住宅支援の体験」ということで、内容は応急仮設住宅建設支援に行かれて感じた事や苦労された話などをしていただきました。

現地に支援にいかれた人にしかわからない貴重な体験を聞くことができ大変勉強になりました。

休憩の後の第二部では、4つのグループに分かれ、

フリーディスカッションで話し合うスタイルがとられ活発な意見交換が行われました。主に震災での体験談、それに対する防災対策等、それ以外にも色々な話題がでてとても有意義な意見交換をする事ができました。



部会長より開会の挨拶



総評をして頂いた小寺課長



第一部で講演をして頂いた長尾主任技術専門員



第二部ではグループ毎に意見交換を実施

座談会のあと各グループ毎に、まとめの発表をして頂きました。各グループ共、参加者全員が楽しく話をされていたのが、とても印象的でした。

最後に小寺課長の総評、岡田副会長の閉会の挨拶で会は無事終了となりました。

午後の忙しい時間からの開始にも関わらず、設備課の皆様、青年部会の皆様には、沢山の方にお集まり頂き本当にありがとうございました。

今後も青年部会の恒例事業として、継続していくためにも年度を重ねる度に、良い事業となるように進歩、発展させ継続していきたいと思えます。

5 東日本大震災義援金

阪神・淡路大震災の時には多くの支援を頂きました。お互いに助け合うことの大切さを学び、この度平成23年10月5日（金）に実施した懇親座談会終了後に、東日本大震災義援金¥93,090.-を寄付しました。



6 インターンシップ事前安全講習会報告

～兵庫県立兵庫工業高等学校～

平成23年10月13日に青年部会の活動計画の一環であります、兵庫県立兵庫工業高等学校にてインターンシップ事前安全講習会を行いました。

本題の活動内容ですが、当日に学校側との打合せを行い、講習内容、時間割などの内容確認を行いました。その後、兵庫県立工業高等学校やまなみ会館にて13：20より、生徒数39名を対象にインターンシップ事前安全講習会が開会されました。

開会にあたり、吉田学校長より挨拶、吉井学科長

より講習会の趣旨説明、講師の紹介、また生徒代表による挨拶の後、生徒代表3名と講師による名刺交換が行われました。

講習会では、合田理事の挨拶の後、電気工事業について山口事業副委員長より説明がありました。日本がどれだけ電力を消費しているか、また電気的重要性を伝え、電気工事業において営業や設計、見積等も同じ電設業であること、また竣工、引渡後もアフターサービス、メンテナンス等も行うといった工事を行うまでの一連の流れの説明をしました。

休憩を挟んだ後、現場作業にかかわる安全事項等についてのビデオ上映をしました。現場での事故につながる要因ごとに、それに対する対策が挙げられていました。ビデオ上映後は福居総務副委員長より、インターンシップ前の安全講習が行われました。実際の事故の状況からそれに対する安全対策、また危険性の説明、また作業前の打合せの大切さを伝え、熱中症対策等、安全に作業を行うための環境作りをすることの重要性の説明をしました。

その後の質疑応答の時間には、電気工事業における必要な資格とは何か、また、電気工事会社に入ると海外出張があるのかという様々な質問があり生徒と講師で楽しく話げできました。

閉会の挨拶では、司会進行をされていた渡辺先生からインターンシップ事前安全講習会のお礼を述べて頂きました。また、最後には恒例の記念撮影を先生方、ならびに生徒達とともに行いました。

これからも青年部会の事業として、さらに内容を充実させていきたいと思えます。



7 座禅研修会

平成23年11月9日に青年部会の活動計画の一環であります、事業委員会による研修事業として、今年度は「座禅研修会」を京都黄檗にある黄檗宗萬福寺にて行いました。

黄檗宗は江戸時代初期の1654年に隠元により開かれ、臨済宗、曹洞宗による禅宗の一つで、萬福寺はその本山にあたります。

研修としましては、和尚様による法話、齋座（昼食）、座禅、写経、作務といった丸一日をかけての内容で、全ての研修を作務衣（サムエ）・裸足で行いました。当日は運よく晴天で、気温も暖かかったのですが、それでも素足からくる寒さに「真冬だったら…」という思いにさせられました。

「日々の仕事、生活を離れ改めて自分を見つめ直し、感謝の気持ちを芽生えさせる」を研修目的としましたが、特に齋座では、「いかに普段の食事を疎かにしていたか」ということを気付かせてもらったように思います。食べる前にお経を唱え合掌し、食事中は音（声）をださない、桶に残った御飯粒も一つ残らず食べ、最後には自分の使用した持鉢（食器）を沢庵とお茶できれいにするなど、普段では考えもしないことを体験させてもらいました。



今の時代は物が溢れ過ぎて「ある」ことが当たり前になっており、感謝の気持ちというものを忘れていっているような気がします。そんな私達の日頃の気持ち、行いに「喝」を入れていただいたように思います。皆さんも一度、足を運ばれては如何でしょうか。

今後もこのような研修事業等、更なる青年部の活動を充実させていきたいと思っております。参加された皆様、本当にご苦労様でした。

8 青年部会会員募集！

平成10年の発足以来、青年部会では、さまざまな勉強会、講演会の実施や行政との意見交換等、直接仕事に係る事業のほか、ボランティア活動や懇親会等、さまざまな活動を行っています。

現在、協会加盟社の中から35名が青年部会にご参加いただいております。未加入の会社の皆様におかれましては、ぜひ、若い世代の青年部会への参加をご検討いただけますよう、宜しく願いいたします。入会に関するお問い合わせは、協会事務局までお願いいたします。

9 委員会活動報告

青年部会での事業を実施するにあたって、それぞれ担当の各委員会で企画から具体的な実施計画まで検討しています。平成23年度（12月迄）に開催された委員会は以下の通りです。

運営委員会	8回	青年部会全体の活動方針、及び各事業の検討
総務委員会	3回	総会の実施、旅費規程管理等
事業委員会	4回	ボランティア事業、研修事業の企画、検討
渉外交流委員会	3回	懇親座談会、会員事業の企画、検討

兵庫県電業協会 青年部会 会員名簿

平成23年12月

会員氏名	会社名	電話番号	F a x 番号
秋山幸三	秋山電工	078-731-4790	078-731-4790
宮井正昭	尼崎電機(株)	06-6411-5550	06-6411-6131
前田知良	伊丹産業電気工事(株)	072-785-1200	072-777-2199
今井良和	(株)今井電気商会	06-6411-6581	06-6411-6584
山崎信彦	栄興電機工業(株)	06-6491-5301	06-6493-1051
田谷浩明	(株)エイデン	078-651-6248	078-651-0267
岡田亮一	岡田電工(株)	079-431-0055	079-431-0069
河野貴司	(株)カデックス	078-511-3667	078-511-1333
福居一道	コガセ工業(株)	078-802-2011	078-802-7001
酒井規和	(株)酒井電気建設	0795-82-3191	0795-82-3511
植村英志	(株)サンデン	078-451-6661	078-764-6662
池田佳隆	サン電設工業(株)	078-575-3757	078-577-4682
橋本大樹	白菱電気設備(株)	0796-23-0195	0796-24-0905
尾崎雅史	西部電気建設(株)	078-882-4051	078-882-4061
吉沢嘉彦	摂丹電気工事(株)	072-782-2433	072-770-7510
北口貴朗	扇港電気工業(株)	078-691-4141	078-611-6525
福岡秀樹	ダイトウ電気工事(株)	078-671-1072	078-671-6237
谷政智	(株)谷電気	0799-22-4697	0799-24-4615
寺坂孝博	寺坂電機(株)	079-421-3388	079-447-5388
尾板利幸	東洋電気工事(株)	078-575-2000	078-577-2600
難波祐一郎	難波電話電気工業(株)	078-341-2431	078-382-0007
大畑篤志	日興電気工業(株)	06-6362-9291	06-6362-6009
山中俊介	(株)ニューテック	06-6418-2415	06-6418-3487
橋爪重憲	橋爪電機(株)	0790-49-0109	0790-49-1707
石井伸洋	ヒカリ電業(株)	0795-42-0560	0795-42-5869
渋谷大介	(株)兵庫蓄電池	078-731-1934	078-731-1967
平尾秀樹	平尾電工(株)	06-6419-5678	06-6419-8877
藤井洋平	藤井電機(株)	079-676-2068	079-676-3948
前田賢則	船木電気工業(株)	078-792-1111	078-792-4444
丸尾宣孝	星屋電工(株)	079-273-4621	079-273-4624
高田賢一	松尾電設工業(株)	078-671-0241	078-671-1300
松本一宏	松本電工(株)	078-641-7011	078-641-7015
平井正博	ミナト電気工事(株)	078-371-5583	078-371-5307
山口寛	山口電気工事(株)	06-6416-7441	06-6416-7444
高橋良之	(株)陵南	079-424-8610	079-424-8611

新生のじぎく会だより

第9回は東日本大震災の直後であり、当大会も世間の動きに合わせて自粛する方向でしたが、西村会長から「こんな時期だからこそ！」というご発声のもと、急遽、チャリティーコンペとして開催する運びになりました。会員、青年部会、OB、賛助会員の皆様、30名のメンバーにお集まり頂きました。地震発生以後、自然の恐ろしさを痛感する日々を過ごす中、当日は遅咲きの桜が満開だったのがとても印象深く残っています。賞金そして心温まる募金により義援金として10万円を兵庫県へ寄付することができました。自粛するばかりでは無く、開催する意義をとて実感できる大会となりました。

第10回は、これまでの感謝を込めて記念大会として開催しました。賛助会員の皆様にも多大なるご協力により、デジタル液晶テレビ他、豪華景品を多数

ご用意し、全員にお土産を持って帰って頂けるような盛大な大会となりました。目玉は当日賞のお掃除ロボット「ルンバ」！幸運の主は山口電気工事の山口社長でした。奥様はきっと大喜びだと・・・。

両大会とも、記念すべき大会となり、最高のお天気で終始和やかに過ごして頂きました。

最近、若いメンバーの方も増えてきました。初心者の方も含めて、これまで参加頂いていない皆様も気軽にお申し込み下さい。お待ちしております。

次回、第11回大会は下記の予定になっています。皆様、奮ってご応募下さい!!

開催日：平成24年4月12日(木)

場所：六甲カントリー倶楽部

第9・10回新生のじぎく会成績結果

回数	開催月日	成績 (ダブルペリア方式)
	開催場所	
第9回	平成23年4月14日(木)	1位 大畑 康洋 (オオハタ電機)
	有馬カントリー倶楽部	2位 河戸 克己 (田辺電気) 3位 小西 寛 (旭電気工業)
第10回	平成23年10月19日(水)	1位 丸尾 宣孝 (星屋電工)
	六甲国際ゴルフ倶楽部	2位 松永 浩 (大日電機) 3位 宮崎 和郎 (大宮電気工業)



第9回チャリティーコンペ
全員集合写真



第10回記念大会 優勝 丸尾さん
(賞品は32型薄型液晶テレビ)

11 一般社団法人日本電設工業協会の動き



1 一般社団法人日本電設工業協会会員大会

平成23年度一般社団法人日本電設工業協会会員大会が、10月13日（木）名古屋市で開催されました。大会には全国から430名余が参加し、盛大に開催されました。

まず、（一社）日本電設工業協会林会長から、「最近の経済動向と業界の情勢を踏まえ、協会が取り組む課題として分離発注の推進、適正価格・適正工期での受注活動、人材の確保・育成、電設技術を通じた低炭素社会の実現」などについて挨拶で述べられました。

その後、「電設協の人材育成の取り組みと登録基幹技能者の処遇改善」をテーマに原人材委員会副委員長から、また「若者に電気工事の魅力をも！～中小企業人材確保推進事業～」をテーマに小林三重電業協会会長から基調報告がありました。4つの活動目標を柱とする大会決議が井上運営委員長から提案され満場一致で採択され、会員大会は終了しました。大会終了後、徳川義崇徳川美術館館長から「文化を守る」と題して記念講演があり、その後、会員懇親会が行われて閉幕しました。

平成23年度会員大会決議

「社会的貢献と顧客価値の創造に努め夢と生きがいのある電設業界を目指そう東日本大震災の復興を支援し、元気な日本を創ろう」

- ① 電設業界の将来を担う優秀な人材を確保するとともに、技術・技能の継承を促進し将来に繋がる人材を育成しよう
- ② 適正な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう
- ③ 地球環境保全を推進し、安全・安心な社会を実現するため、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用積極的に取り組もう
- ④ 品質と価格の透明性を確保するとともに、対話を通じて顧客満足度の高いサービスを提供するため、分離発注を強力に推進しよう

2 J E C A F A I R 2012 ～第60回電設工業展～

電気設備機器・資材・工具等の総合展示会である「J E C A F A I R 2012～第60回電設工業展～」が、平成24年5月30日（水）～6月1日（金）の3日間にわたり、インテックス大阪4・5号館で開催されることになりました。主催は一般社団法人日本電設工業協会ですが、当協会もこの展示会に協賛す

ることにしています。

今回の展示会は、昭和32年の第1回開催以来、記念すべき60回目の開催となり名称を「J E C A F A I R」に変更し、「スマート技術で社会貢献～未来都市づくりへのチャレンジ～」をテーマに電気設備業界のあらゆる情報を発信していくことになっています。

12 兵庫県の入札・契約制度

兵庫県の入札・契約制度について

兵庫県では、企業の技術力や社会貢献状況を適正に評価し、健全な育成を図るため技術・社会貢献評価数値が入札参加要件となっています。当協会では、社会貢献活動を協会活動の柱の1つとして取り組んでおり、会員に対してこれらの活動への積極的な参加を呼び掛けています。

技術・社会貢献評価数値に係る入札・契約制度は

次のとおりです。詳細は兵庫県のホームページをご覧ください。<http://web.pref.hyogo.lg.jp> → 県政情報 → 各種手続・入札 → 入札・公売情報 → 兵庫県入札参加資格審査のご案内（工事関係） → 入札・契約制度（建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務）

1 入札参加要件とする技術・社会貢献評価数値

(1) 入札参加要件

公募型一般競争入札及び制限付き一般競争入札については、格付等級や施工実績のほか技術・社会貢献評価数値が、次のとおり必要です。

区 分	契約予定金額	必要評価点数
公募型一般競争入札	2.5億円～	30点
制限付き一般競争入札	1億円～2.5億円	25点
	5千万円～1億円	10点
	1.3千万円～5千万円	5点

(2) 技術・社会貢献評価数値

ア 技術評価数値

項 目	要 件	評価点数
1 ISO認証取得	9000シリーズ	16点
2 各種賞受賞	さわやかな県土づくり賞	16点
	人間サイズのまちづくり賞	8点
	県優秀施工者賞	4点
3 VE提案・採用等		1件8点、上限48点
4 建設労働災害防止活動		6点
5 工事成績	平均工事成績点	120点～ △40点

イ 社会貢献評価数値

項目	要件	評価点数	
1 障害者雇用	法定雇用率達成	40点	
	報告義務はないが雇用	20点	
	法定雇用率 未達成	達成率 2 / 3 以上	24点
		達成率 1 / 3 以上	16点
達成率 1 / 3 未満		8点	
2 ISO認証取得	14000シリーズ	16点	
3 エコアクション21認証取得（上記14000との重複なし）		16点	
4 各種賞受賞	建設雇用改善優良事業所知事表彰	8点	
	納税功労者表彰	4点	
	ひょうご経営革新賞	6点	
5 県との協定締結	男女共同参画社会づくり協定	8点	
	子育て応援協定	8点	
6 社会貢献活動	災害応急対策業務協定締結	12点	
	上記協定に基づく出動	16点	
	地域づくりのために資する重要な活動	8点	
	県管理河川等公共施設の愛護活動	6点	
	県の関係事業に対する支援	6点	
	就業体験事業等への協力	8点	
	地域安全まちづくり活動	6点	
	協力雇用主として保護観察対象者等を雇用	16点	
	建設業暴力追放活動	6点	

ウ 資格制限・指名停止数値

項目	要件	評価点数
1 資格制限	入札参加者資格制限を受けた場合	-16点
2 指名停止	6月以上の指名停止を受けた場合	-16点

注) なお、平成23年7月からは「コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」や「ふれあいの祭典」にボランティア参加した場合、社会貢献活動の地域づくりのために資する重要な活動として8点が加算されることとなっています。

受賞おめでとうございます。

平井伸幸副会長が平成23年秋の黄綬褒章受章

平井伸幸副会長が平成23年11月3日付けで黄綬褒章を受章され、伝達式及び皇居で天皇陛下への拝謁が11月15日（火）に行われました。



平井伸幸氏

社団法人兵庫県電業協会副会長
ミナト電気工事株式会社代表取締役社長

小山恵生副会長が平成23年度兵庫県功労者表彰受賞

小山恵生副会長が平成23年5月3日付けで平成23年度兵庫県功労者表彰（まちづくり功労）を受けられ、表彰式が同18日（水）、県公館で執り行われました。



小山恵生氏

社団法人兵庫県電業協会副会長
西部電工株式会社代表取締役

北口嘉一氏が平成23年秋の旭日双光章受章

当協会の会員で前兵庫県電気工事工業組合理事長の北口嘉一氏が平成23年11月3日付けで旭日双光章を受章され、伝達式及び皇居で天皇陛下への拝謁が11月10日（木）に行われました。



北 口 嘉 一 氏

社団法人兵庫県電業協会会員
扇港電気工業株式会社代表取締役



田中宏和氏が平成22年度兵庫県優秀施工者賞受賞

田中宏和氏が平成22年度兵庫県優秀施工者賞を受賞され、表彰式が平成23年2月2日（水）、県公館で執り行われました。



田 中 宏 和 氏

所属 東洋電気工事株式会社



さわやかな県土づくり賞受賞

すばらしい技術力を発揮し、特に優秀な工事成績をもって完成した工事について、兵庫県がその施工者を賞する「さわやかな県土づくり賞」が次のとおり授与されました。

・平成22年度（授賞式：H23， 2， 2）

県立新加古川病院電気設備工事
日光電気工事株式会社
株式会社日の丸電気

・平成23年度（授賞式：H23， 12， 15）

兵庫県警察本部省エネ化改修電気設備工事
共栄電器工業株式会社
(国) 178号余部道路トンネル照明設備工事
東洋電気工事株式会社
早水電機工業株式会社

会 務 日 誌

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
1 / 4 (火)	新年合同祝賀会	神戸国際展示場	大川常任理事
1 / 7 (金)	※ 県幹部への新年挨拶	兵庫県庁	正副会長、専務理事
1 / 8 (土)	神戸市長を囲む新春交歓会	神戸ポートピアH	平井副会長
1 / 12 (水)	※ 第56回通常総会・新年名刺交換会	生田神社会館	会 員
1 / 13 (木)	空衛協会新年交礼会	Hオークラ神戸	平井副会長、小山副会長
1 / 13 (木)	兵庫県建築会新春会員交流会	神戸東急イン	専務理事
1 / 17 (月)	※ 災害対策緊急連絡網伝達訓練	協会事務局	会 員
1 / 17 (月)	日電協関西支部賀詞交歓会	シェラトン都H大阪	会長、小坂常任理事
1 / 19 (水)	※ 第 6 回経営委員会	協会事務局	委 員
1 / 25 (火)	※ 但馬県民局要望	豊岡土木事務所	田中理事
1 / 26 (水)	※ 第 3 回公益法人制度改革特別委員会	協会事務局	委 員
2 / 3 (木)	建設産業関係団体「意見交換会」	兵庫県農業共済会館	正副会長、専務理事
2 / 7 (月)	※ 第 6 回技術・安全委員会	協会事務局	委 員
2 / 14 (月)	※ 西宮市訪問	西宮市役所	会長、小坂常任理事、地元会員、専務理事
2 / 14 (月)	※ 阪神南県民局訪問	阪神南県民局	会長、小坂常任理事、専務理事
2 / 15 (火)	※ 第 8 回総務委員会	協会事務局	委 員
2 / 15 (火)	※ 阪神南北地区懇談会	はなみずき	会長、専務理事、地区会員
2 / 16 (水)	※ 暴力団追放対策講習会	神戸市教育会館	会 員
2 / 22 (火)	第 4 回近畿 6 電業協会連絡協議会	敦 賀 市	会長、平井副会長
2 / 23 (水)	※ 西播磨地区懇談会	相生市民会館	小山副会長、専務理事、地区会員
2 / 25 (金)	※ 第 8 回理事会	しら波荘	理 事
3 / 2 (水)	※ 神戸県民局訪問	神戸県民局	会長、平井副会長、大川常任理事、合田常任理事、池田理事、専務理事
3 / 2 (水)	※ 経営事項審査改正点の説明会	神戸市教育会館	会 員
3 / 3 (木)	※ 県外本店地区懇談会	協会事務局	会長、専務理事、地区会員
3 / 7 (月)	一般社団法人移行説明会	中央電気倶楽部	専務理事
3 / 8 (火)	※ 東・中播磨地区懇談会	姫路商工会議所	会長、専務理事、地区会員
3 / 14 (月)	※ 淡路地区懇談会	(株)国益電業社	地区会員
3 / 14 (月)	※ 中播磨県民局訪問	中播磨県民局	会長、小山副会長、中谷理事、専務理事
3 / 15 (火)	自民党県連との意見交換会	兵庫県庁	正副会長
3 / 15 (火)	※ 第 9 回総務委員会	協会事務局	委 員
3 / 15 (火)	日電協関西支部地区協議会	中央電気倶楽部	会長、小山副会長
3 / 16 (水)	※ 北播磨地区懇談会	滝 寺 荘	会長、平井副会長、専務理事、地区会員

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
3 / 18(金)	※ 神戸地区懇談会	神戸市男女共同参画センター	会長、平井副会長、専務理事、地区会員
3 / 24(木)	※ 第 9 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
3 / 25(金)	県との意見交換会	印 刷 会 館	正副会長、専務理事
3 / 28(月)	※ 但馬県民局訪問	但 馬 県 民 局	会長、田中理事、専務理事
3 / 28(月)	※ 但馬地区懇談会	白 菱 電 気 設 備 (株)	会長、専務理事、地区会員
4 / 2(土)	※ 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会開講式	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
4 / 4(月)	※ 第 1 回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 8(金)	※ 決算監査	協 会 事 務 局	監事、専務理事
4 / 11(月)	※ 第 1 回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 12(火)	※ 第 1 回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 12(火)	義援金寄贈	知 事 室	会長、平井副会長、専務理事
4 / 19(火)	青年部会総会	神 戸 市 勤 労 会 館	会 長
4 / 20(水)	※ 第 1 回理事会	協 会 事 務 局	理 事
4 / 29(金)	※ 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会閉校式	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
5 / 13(金)	建設業暴力追放協議会総会	兵 庫 建 設 会 館	専務理事
5 / 17(火)	日電協関西支部地区協議会	中央電気倶楽部	会 長
5 / 18(水)	兵庫県功労者表彰式	兵 庫 県 公 館	小山副会長
5 / 25(水)	※ 第57回通常総会	生 田 神 社 会 館	会 員
5 / 26(木)	兵庫県建築会会員交流会	神 戸 東 急 イ ン	専務理事
6 / 1(水)	※ 西宮地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1(水)	※ 伊丹地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1(水)	※ 宝塚地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1(水)	※ 加東・三木地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1(水)	※ 加西地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 1(水)	※ 西脇・多可地区公共施設愛護活動	県 道 各 所	地区会員
6 / 2(木)	※ 三田地区公共施設愛護活動	青 野 ダ ム 周 辺	地区会員
6 / 6(月)	※ 但馬地区公共施設愛護活動	市 内 各 所	地区会員
6 / 6(月)	※ 丹波地区公共施設愛護活動	市 内 各 所	地区会員
6 / 7(火)	第 1 回近畿 6 電業協会会長連絡協議会	京 都 市 内	会 長
6 / 7(火)	※ 尼崎地区公共施設愛護活動	武 庫 川 河 川 敷	地区会員
6 / 8(水)	※ 明石地区公共施設愛護活動	大 蔵 海 岸 公 園	地区会員
6 / 10(金)	※ 第 2 回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
6 / 13(月)	※ 第 2 回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
6 / 14(火)	※ 第 2 回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
6 / 20(月)	ひょうご地域安全まちづくり推進協議会総会	兵 庫 県 公 館	専務理事

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
6 / 21(火)	※第2回理事会	協 会 事 務 局	理 事
7 / 1(金)	空衛協会との打合せ	協 会 事 務 局	正副会長、専務理事
7 / 2(土)	※第1回技術講習会	兵 庫 県 民 会 館	会 員
7 / 11(月)	※第3回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
7 / 14(木)	※安全衛生推進大会	兵 庫 県 民 会 館	会 員
7 / 15(金)	※第3回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
7 / 16(土)	ものづくりコンテスト兵庫県大会	龍 野 北 高 校	経営委員長
7 / 16(土)	第58回自由民主党兵庫県連大会	兵庫県看護協会会館	池田理事
7 / 20(水)	※第3回理事会	協 会 事 務 局	理 事
7 / 25(月)	※第2回技術講習会	姫 路 市 民 会 館	会 員
7 / 26(火)	※兵庫県との行政懇談会	林 業 会 館	正副会長、専務理事、常任理事
7 / 27(水)	※インターンシップ受入説明会(豊岡総合高校)	豊 岡 総 合 高 校	経営委員長、受入会員、専務理事
7 / 27(水)	※インターンシップ受入説明会(尼崎工業高校)	尼 崎 工 業 高 校	経営委員長、受入会員、専務理事
7 / 28(木)	※インターンシップ受入説明会(相生産業高校)	相 生 産 業 高 校	宗接副委員長、専務理事
8 / 2(火)	※加古川・高砂地区公共施設愛護活動	河 川 敷	地区会員
8 / 3(水)	※神戸地区公共施設愛護活動	明 石 川 河 川 敷	地区会員
8/3(水)~5(金)	※インターンシップ(相生産業高校)	受入会 員企業等	受入会員
8 / 5(金)	※インターンシップ受入説明会(龍野北高校)	龍 野 北 高 校	宗接副委員長、受入会員、専務理事
8/8(月)~10(水)	※インターンシップ(豊岡総合高校)	受入会員企業等	受入会員
8/22(月)~24(水)	※インターンシップ(龍野北高校)	受入会員企業等	受入会員
8/23(火)~25(木)	※インターンシップ(尼崎工業高校)	受入会員企業等	受入会員
8 / 26(金)	和歌山電業協会20周年記念式典	ダイワロイネットH	会長、平井副会長
9 / 5(月)	※第4経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
9 / 6(火)	※第3回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
9 / 7(水)	※第4回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
9 / 10(土)	※1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会(1日目)	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
9 / 12(月)	自民党県連との意見交換会	兵 庫 県 庁	正副会長
9 / 13(火)	※第4回理事会	協 会 事 務 局	理 事
9 / 17(土)	※1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会(2日目)	中央労働センター	専務理事
9 / 20(火)	第60回電設工業展第1回実行委員会	ラ マ ダ H 大 阪	経営委員長
9 / 26(月)	※第1回会報編集検討会	協 会 事 務 局	委 員
9 / 27(火)	兵庫県暴力団離脱者就労対策協議会	パ レ ス 神 戸	専務理事
9 / 27(火)	第2回近畿6電業協会会長連絡協議会	リーガロイヤルH京都	会 長
9 / 28(水)	※経営講演会&県有施設設計講習会	神 戸 市 教 育 会 館	会 員
9 / 30(金)	※災害対策緊急連絡網伝達訓練	協 会 事 務 局	会 員

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
10/3(月)	矢田たつおと語る会	ANAクラウンプラザH神戸	池田理事、難波委員
10/4(火)	※山口信行県会議員訪問	兵 庫 県 庁	会長、平井副会長、専務理事
10/11(火)	※第5回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
10/11(火)	※第2回会報編集検討会	協 会 事 務 局	委 員
10/12(水)	近畿地方整備局営繕部長訪問	近 畿 地 方 整 備 局	会長、前田副会長
10/13(木)	※インターンシップ事前安全講習会 (兵庫工業高校)	兵 庫 工 業 高 校	経営委員長、青年部会
10/14(金)	※県公益法人室打合せ	兵 庫 県 庁	専務理事
10/17(月)	※インターンシップ受入説明会(兵庫工業高校)	協 会 事 務 局	経営委員長、受入会員、専務理事
10/17(月)	※第5回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
10/20(木)	※第5回理事会	協 会 事 務 局	理 事
10/25(火)	第39回電気工事士技能競技大会	大阪府立体育会館	技術・安全委員長
10/25(火)~27(木)	※インターンシップ(兵庫工業高校)	受入会員企業等	受入会員
10/26(水)	※施設見学会	あわじメガソーラー1 他	会 員
11/2(水)	※中播磨地区公共施設愛護活動	姫 路 港	地区会員
11/3(木)	自民党兵庫県連研修会	ANAクラウンプラザH神戸	会長、合田常任理事、専務理事
11/7(月)	新生兵庫講演会	神 戸 国 際 会 館	副会長、常任理事、専務理事
11/10(木)	※第6回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
11/12(土)~13(日)	コウノトリ翔る但馬まるごと感動市	但 馬 ド ー ム	地元会員、会長、経営委員長、専務理事
11/14(月)	※第4回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
11/15(火)	黄綬褒章伝達式	国土交通省・皇居	平井副会長
11/15(火)	※インターンシップ受入説明会(洲本実業高校)	洲 本 実 業 高 校	経営委員長、受入会員、専務理事
11/17(木)	※第6回理事会	協 会 事 務 局	理 事
11/18(金)	官庁懇談会(都市再生機構)	都市再生機構西日本支社	平井副会長、専務理事
11/21(月)22(火)24(木)	※インターンシップ(洲本実業高校)	受入会員企業等	受入会員
11/24(木)	※阪神南県民局訪問	阪 神 南 県 民 局	会長、小坂常任理事、専務理事
11/25(金)	官庁懇談会(近畿地方整備局)	中央電気倶楽部	会長、前田副会長
11/25(金)	建設雇用改善推進対策会議	兵 庫 労 働 局	専務理事
12/7(水)	※第7回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
12/7(水)	※第3回会報編集検討会	協 会 事 務 局	委 員
12/13(火)	第3回近畿6電業協会会長連絡協議会	京 都 市 内	会長、平井副会長
12/15(木)	※第7回理事会	協 会 事 務 局	理 事
12/15(木)	※平井副会長黄綬褒章受章祝賀会	ANAクラウンプラザH神戸	会長ほか有志
12/20(金)	県との意見交換会	兵 庫 県 林 業 会 館	正副会長、専務理事

※は当協会主催

社団法人兵庫県電業協会役員名簿

H23.12.1現在

役職名	氏名	会員名
会長	西村善明	尼崎電機(株)
副会長	平井伸幸	ミナト電気工事(株)
〃	小山恵生	西部電工(株)
〃	前田潮	西部電気建設(株)姫路支店
専務理事	先山一矢	事務局
常任理事	大川康太郎	ダイトウ電気工事(株)
〃	金川次男	金川電業(株)
〃	合田吉伸	東洋電気工事(株)
〃	小坂佳秀	栄興電機工業(株)
〃	立山欽司	日本電設工業(株)大阪支店神戸営業所
〃	寺坂睦博	寺坂電機(株)
理事	池田重男	サン電設工業(株)
〃	荻野啓一	オーケイ電設(株)
〃	荻野隆市	伊丹産業電気工事(株)
〃	篠原潔	(有)中村電設興業
〃	田中良彦	白菱電気設備(株)
〃	中谷勉	中央電工(株)
〃	中安進	和工電気設備工事(株)
〃	向山和義	(株)国益電業社
〃	山口節夫	山口電気工事(株)
〃	植原利幸	会員外
監事	庄野春夫	庄野電気工事(株)
〃	宮崎和郎	大宮電気工業(株)
〃	石川規	会員外

正 会 員 名 簿

神戸地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
東灘区				
神戸電機工事(株)	伊藤 生夫	078-841-4603 078-854-1756	658-0044	神戸市東灘区御影塚町2-7-14
(株)サンデン	植村 英志	078-451-6661 078-764-6662	658-0082	神戸市東灘区魚崎北町7-8-3
日光電気工事(株)	田部 重雄	078-811-2301 078-843-0069	658-0026	神戸市東灘区魚崎西町3-5-31
東灘電気工事(株)	井深 賀雄	078-451-7311 078-452-6235	658-0014	神戸市東灘区北青木2-1-36
(株)三宅電気工事	三宅 誠治	078-451-0401 078-412-0252	658-0025	神戸市東灘区魚崎南町3-21-12
灘 区				
岩本電気(株)	岩本 弘志	078-882-0123 078-861-7245	657-0015	神戸市灘区篠原伯母野山町3-3-4
コガセ工業(株)	福居 豊作	078-802-2011 078-802-7001	657-0864	神戸市灘区新在家南町2-3-15
(株)神鋼エンジニアリング &メンテナンス	田中 毅	078-882-5271 078-871-3665	657-0846	神戸市灘区岩屋北町4-5-22
西部電気建設(株)	阿曾 康彦	078-882-4051 078-882-4061	657-0844	神戸市灘区都通4-1-1
星野電工(株)	古志 博通	078-811-6939 078-811-9333	657-0037	神戸市灘区備後町2-2-4
森電気工業(株)	濱田 泰二	078-882-3170 078-882-3574	657-0844	神戸市灘区都通3-3-26
中央区				
大宮電気工業(株)	宮崎 和郎	078-221-0137 078-251-8345	651-0084	神戸市中央区磯辺通3-2-23
(株)北村電気工業	小野 恵三	078-681-4051 078-681-3716	650-0044	神戸市中央区東川崎町4-1-1
三和電気工業(株)	吉田 今年	078-341-3371 078-371-3035	650-0013	神戸市中央区花隈町10-2
東栄電気(株)	桑田 健治	078-261-2201 078-242-4565	651-0092	神戸市中央区生田町1-1-7
難波電話電気工業(株)	難波祐一郎	078-341-2431 078-382-0007	650-0015	神戸市中央区多聞通3-2-16
日本電設工業(株) 大阪支店神戸営業所	立山 欽司	078-391-5981 078-332-1429	650-0012	神戸市中央区北長狭通4-9-26 西北神ビル7階

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
(株)日の丸電気	日野 実	078-241-0024 078-221-5833	651-0067	神戸市中央区神若通 2-5-11
ミナト電気工事(株)	平井 伸幸	078-371-5583 078-371-5307	650-0017	神戸市中央区楠町 6-1-12
(株)明和工務店 甲南営業所	橋本 治	078-940-1180 078-940-1191	650-0046	神戸市中央区港島中町 7-4-3
兵庫区				
(株)エイデン	岡野 克弘	078-651-6248 078-651-0267	652-0846	神戸市兵庫区出在家町 2-6-8
(株)カデックス	河野 真也	078-511-3667 078-511-1333	652-0042	神戸市兵庫区東山町 1-11-2
甲南電設工業(株)	塩出 浩一	078-651-4040 078-651-4045	652-0882	神戸市兵庫区芦原通 1-2-12
サン電設工業(株)	池田 佳隆	078-575-3757 078-577-4682	652-0804	神戸市兵庫区塚本通 3-2-10
杉本電気工事(株)	杉本 衛	078-576-6007 078-576-5171	652-0816	神戸市兵庫区永沢町 2-1-4
太昭電設(株)	川井 昭爾	078-575-8885 078-575-8925	652-0035	神戸市兵庫区西多聞通 1-3-20
ダイトウ電気工事(株)	大川康太郎	078-671-1072 078-671-6237	652-0822	神戸市兵庫区西出町 2-3-20
東洋電気工事(株)	合田 吉伸	078-575-2000 078-577-2600	652-0898	神戸市兵庫区駅前通 5-1-18
松尾電設工業(株)	松尾新二郎	078-671-0241 078-671-1300	652-0882	神戸市兵庫区芦原通 2-2-3
菱神テクニカ(株)	八木 耕三	078-651-9111 078-651-9112	652-0871	神戸市兵庫区浜山通 6-1-1
北 区				
(株)シモデン	下岸 功	078-594-2700 078-594-2622	651-1132	神戸市北区南五葉 5-3-3
長田区				
秋山電工	秋山 幸三	078-731-4790 078-731-4790	653-0054	神戸市長田区長楽町 3-8-14
柴崎電機工業(株)	柴崎 章裕	078-575-5111 078-575-5115	653-0015	神戸市長田区菅原通 3-207-1
扇港電気工業(株)	北口 嘉一	078-691-4141 078-611-6525	653-0805	神戸市長田区片山町 2-18-22
日幸電気工業(株)	小塩 祥延	078-731-7308 078-733-3146	653-0054	神戸市長田区長楽町 2-1-14
(株)野崎電気工業所	野崎 猛	078-691-4457 078-641-0002	653-0882	神戸市長田区長田天神町 5-7-5
早水電機工業(株)	早水 勝徳	078-731-9301 078-733-2314	653-0052	神戸市長田区海運町 2-5-11

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
(株)兵庫蓄電池	西岡 康裕	078-731-1934 078-731-1967	653-0043	神戸市長田区駒ヶ林町6-10-7
松本電工(株)	松本 一郎	078-641-7011 078-641-7015	653-0867	神戸市長田区高東町3-4-13
須磨区				
旭電気工業(株)	金藤 泰祥	078-732-4855 078-732-4870	654-0036	神戸市須磨区南町1-3-24
野田電気(株)	野田日出雄	078-734-0031 078-734-3805	654-0034	神戸市須磨区戸政町2-1-9
富士電設工業(株)	柏原 良行	078-731-3095 078-733-6027	654-0044	神戸市須磨区稲葉町2-2-11
船木電気工業(株)	船木 靖夫	078-792-1111 078-792-4444	654-0103	神戸市須磨区白川台3-38-2
矢野電気工事(株)	吉野 光治	078-731-5357 078-731-6330	654-0024	神戸市須磨区大田町4-2-22
西 区				
黒住電気工事(株)	黒住 浩	078-974-4458 078-974-4633	651-2117	神戸市西区北別府4-2118-5
新電機工業(株)	小塩 健治	078-927-7747 078-927-7757	651-2143	神戸市西区丸塚1-25-7
(有)高原電工	原 昇	078-922-0315 078-962-5641	651-2146	神戸市西区宮下2-5-10
山口電気工業(株)	山口 忠男	078-927-7959 078-922-2831	651-2131	神戸市西区持子3-52-2

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

日本でただひとつの
全国120カ所の
販売網を誇る
電材商社です。
お問い合せは
お近くの営業所へ。

期待以上の
総合力。

東芝電材マーケティング株式会社
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央3-4-36
TEL:045-567-1780(代)

www.tsdm.co.jp

東芝電材 検索

eco スタイル

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。

阪神南地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
尼崎市				
尼崎電機(株)	宮井 正昭	06-6411-5550 06-6411-6131	660-0843	尼崎市東海岸町1-46
(株)今井電気商会	今井 昭雄	06-6411-6581 06-6411-6584	660-0874	尼崎市西本町7-9
栄興電機工業(株)	小坂 圭一	06-6491-5301 06-6493-1051	661-0971	尼崎市瓦宮1-9-15
(株)小川電設	小川 元	06-6419-7877 06-6419-8601	660-0893	尼崎市西難波町2-19-21
共栄電器工業(株)	柳楽 信義	06-6481-8807 06-6482-7172	660-0815	尼崎市杭瀬北新町1-16-1
四国電設工業(株)	堀口 繁	06-6417-2181 06-6419-3158	660-0052	尼崎市七松町3-16-8
大日通信工業(株)	吉森 紀一	06-6489-2421 06-6483-2420	660-0805	尼崎市西長洲町2-6-23
(株)電工舎	岩倉 正保	06-6427-1921 06-6427-1930	661-0012	尼崎市南塚口町5-10-13
(株)ニューテック	山中 隆夫	06-6418-2415 06-6418-3487	660-0095	尼崎市大浜町2-12
平尾電工(株)	平尾 秀樹	06-6419-5678 06-6419-8877	660-0055	尼崎市稲葉元町2-4-9
山口電気工事(株)	山口 節夫	06-6416-7441 06-6416-7444	660-0064	尼崎市稲葉荘1-13-5
西宮市				
(株)江見電気工業所	江見 一三	0798-52-4337 0798-52-6329	662-0884	西宮市上ヶ原十番町6-32
(株)しんこう	竹内 秀夫	0798-37-1333 0798-37-1334	662-0856	西宮市城ヶ堀町2-22
本多電気(株)	本多 範幸	0798-40-3005 0798-40-3007	663-8156	西宮市甲子園網引町8-19
(株)山日電気	庄治 成貞	078-904-2104 078-903-2162	651-1421	西宮市山口町上山口1-12-19
山本電工(株)	山本甲子生	0798-22-6034 0798-22-6038	662-0928	西宮市石在町11-10
吉川電気工業(株)	吉川 茂樹	0798-26-6538 0798-26-3173	662-0951	西宮市川西町15-5
ワタナベ忠電(株)	渡辺 忠行	0798-35-0660 0798-35-8925	662-0947	西宮市宮前町6-12

阪神北地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
伊丹市				
伊丹産業電気工事(株)	荻野 隆市	072-785-1200 072-777-2199	664-0836	伊丹市北本町2-259
奥本電気(株)	奥本 正敏	072-781-2475 072-781-0165	664-0027	伊丹市池尻3-340
庄野電気工事(株)	庄野 隆二	072-782-1375 072-770-4409	664-0012	伊丹市緑ヶ丘1-324
摂丹電気工事(株)	吉沢 静也	072-782-2433 072-770-7510	664-0846	伊丹市伊丹4-6-7
つかさ電機	政 康夫	072-770-5840 072-782-7348	664-0028	伊丹市西野6-28-1
野澤電気工事(株)	野澤 幹夫	072-775-3712 072-772-0905	664-0852	伊丹市南本町5-1-16
(株)ハンデン	貫名 恒一	072-782-2471 072-782-2679	664-0846	伊丹市伊丹5-9-10
(株)山富電設	山村 信介	072-783-2991 072-770-6447	664-0007	伊丹市北野5-6-12
宝塚市				
(株)宝塚電業社	北川 洋司	0797-72-2286 0797-73-7708	665-0033	宝塚市伊子志3-2-28
三田市				
内田電工(株)	内田 知洋	079-563-2384 079-563-6323	669-1528	三田市駅前町19-14
(株)長谷川電工社	長谷川 実	079-562-2971 079-564-2324	669-1513	三田市三輪4-2-34
(株)みたか	宮寄 薫	079-567-1448 079-567-2008	669-1311	三田市加茂656-1



さらに安心・安全な暮らしの中に。

本社 事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18(東京虎ノ門ビル) 産業電線営業統括部 ☎(03)3597-7081

関西支店 中部支店 北海道支店 東北支店 中国支店 九州支店

昭和電線ケーブルシステム株式会社 www.swcc.co.jp/

東播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
明石市				
しなのや電機(株)	藤田 義明	078-936-2567 078-934-2655	674-0051	明石市大久保町大窪247
新興電機工業(株)	吉田庄太郎	078-923-5858 078-923-8887	673-0023	明石市西新町3-11-12
(株)橋電機	橋 勉	078-946-0525 078-947-4617	674-0065	明石市大久保町西島750-2
(有)中村電設興業	田中 敏勝	078-912-1355 078-912-1356	673-0882	明石市相生町2-11-20
(株)宮野電気商会	宮野 隆	078-925-3224 078-925-3227	673-0028	明石市硯町1-7-23
加古川市				
岡田電工(株)	岡田 祥之	079-431-0055 079-431-0069	675-0051	加古川市東神吉町升田844
協永電機(株)	長永 光記	079-424-4394 079-425-1217	675-0062	加古川市加古川町美乃利472
(株)サンデン	三好 元旦	079-425-1155 079-425-6218	675-0019	加古川市加古川町北在家2723 センタービル5F
高橋電気(株)	高橋 弘樹	079-424-6719 079-424-5943	675-0061	加古川市加古川町大野989-3
建部工業(株)	建部 正人	079-435-1261 079-435-8597	675-0131	加古川市別府町新野辺新堀通1274-1
寺坂電機(株)	寺坂 睦博	079-421-3388 079-447-5388	675-0054	加古川市米田町平津671-1
(株)ほうらい電気	蓬萊 昭治	079-435-0112 079-435-5971	675-0113	加古川市平岡町中野684-6
(株)山口電機	山口 雅也	079-431-1322 079-431-1999	675-0053	加古川市米田町船頭523-1
陵神電気設備(株)	芝野 勝宣	079-457-3901 079-457-3903	675-0068	加古川市加古川町中津566-6
(株)陵南	高橋 裕志	079-424-8610 079-424-8611	675-0068	加古川市加古川町中津566-1
高砂市				
(株)籠谷	栗原 直樹	079-442-2407 079-442-2473	676-0005	高砂市荒井町御旅2-1-17
(株)協和電気商会	脇谷 政孝	079-442-1081 079-442-4532	676-0005	高砂市荒井町御旅2-2-6
東播電設工業(株)	覚野 成広	079-443-5111 079-443-2036	676-0005	高砂市荒井町御旅1-2-14

北播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
西脇市				
エーナガ電気工業(株)	栄永 史朗	0795-22-2539 0795-22-0160	677-0054	西脇市野村町1795-403
オカモト電気(株)	岡本 隆史	0795-22-9212 0795-22-4965	677-0055	西脇市高松町467
三幸(株)	杉岡 輝保	0795-22-5600 0795-22-5602	677-0053	西脇市和布町273
西部電建(株)	金井 弘行	0795-22-2451 0795-22-2453	677-0015	西脇市西脇885-120
銭屋電機(株)	前川 康二	0795-22-2131 0795-22-2133	677-0015	西脇市西脇1033
三木市				
田中電機(株)	田中 真吾	0794-82-0589 0794-82-5431	673-0402	三木市加佐231-3
加西市				
小東電気(株)	小東敬三郎	0790-42-0469 0790-42-5453	675-2312	加西市北条町北条137-18
(株)西村電気工事	西村 栄俊	0790-42-3611 0790-42-2254	675-2323	加西市北条町西南377
橋爪電機(株)	橋爪 義明	0790-49-0109 0790-49-1707	675-2102	加西市中野町1635-5
加東市				
(有)オオハタ電機	大畑 康洋	0795-45-1515 0795-45-1516	673-1401	加東市上鴨川208-29
金川電業(株)	金川 次男	0795-48-4310 0795-48-4843	679-0211	加東市上滝野2038
ヒカリ電業(株)	石井 為記	0795-42-0560 0795-42-5869	673-1445	加東市大門294-3
(株)福田電気商会	福田 歩	0795-48-3162 0795-48-3425	679-0213	加東市光明寺46
多可郡				
中町電業(株)	梅田 雅広	0795-32-2245 0795-32-3192	679-1113	多可郡多可町中区中村町23

中播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
姫路市				
イトデン(株)	伊藤 敏夫	079-292-6247 079-294-7258	670-0996	姫路市土山2-13-4
神崎電設(株)	神崎 雅晴	079-281-3198 079-288-4731	670-0853	姫路市大黒壺丁町41
(株)北山工商	北山 茂	079-261-2245 079-261-3716	679-4201	姫路市林田町久保184-7
近畿興業(株)	井上 裕一	079-239-1961 079-239-8352	672-8094	姫路市飾磨区鎌倉町57-1
広陽電業(株)	森井 重成	079-274-0078 079-272-2057	671-1145	姫路市大津区平松56-4
坂元電気(株)	坂元 宣之	079-223-1841 079-223-1843	670-0935	姫路市北条口2-2
西部電気建設(株) 姫路支店	阿曾 康彦	079-224-3512 079-288-1914	670-0804	姫路市保城981-1
西部電工(株)	小山 恵生	079-239-3456 079-239-1168	671-1124	姫路市広畑区鶴町2-31
大拓電気(株)	小林 勝士	079-268-2221 079-268-2227	671-2221	姫路市青山北3-250-1
大日電機(株)	松永 浩	079-237-0014 079-236-6544	671-1141	姫路市大津区西土井289-19
中央電工(株)	中谷 勉	079-253-1991 079-252-6575	671-0218	姫路市飾東町庄61-3
寺前電機(株)	久後 弘毅	079-282-3455 079-282-3453	670-0953	姫路市三条町1-78
東京電機工業(株)	諏訪 芳一	079-272-0272 079-274-0272	671-1234	姫路市網干区新在家355-2
東和電気工事(株)	三和 敬典	079-234-1020 079-234-2920	670-0974	姫路市飯田2-51-1
中島電機(株)	中島 功	079-245-2281 079-245-2087	672-8023	姫路市白浜町丙466-1
日新電工(株)	木村 淳三	079-222-0191 079-222-0180	670-0836	姫路市神屋町2-59-2
播州電業(株)	宗接 和人	079-266-3068 079-266-7093	671-2214	姫路市西夢前台3-26
姫高電機(株)	井手 政秋	079-298-7000 079-293-1220	670-0974	姫路市飯田491-12
星屋電工(株)	丸尾 富保	079-273-4621 079-273-4624	671-1133	姫路市大津区吉美216-2
ミナト電機工業(株)	高島 國昭	079-235-8444 079-235-7180	672-8076	姫路市飾磨区入船町2-4
神崎郡				
福崎電業(株)	駒田 和幸	0790-22-1080 0790-22-2622	679-2205	神崎郡福崎町東田原1201-1

西播磨地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
相生市				
神榮電機設備工業(株)	神谷 栄幸	0791-22-5496 0791-22-5487	678-0031	相生市旭 1-17-13
和工電気設備工事(株)	中安 良介	0791-23-0252 0791-23-3347	678-0063	相生市佐方 1-175-2
たつの市				
(株)志水電気	志水 秀作	0791-75-1298 0791-75-3446	679-4324	たつの市新宮町薺崎155



日本電設資材株式会社

<http://www.n-ds.co.jp>

兵庫グループ

- 神戸支店 〒657-0852 神戸市灘区大石南町 3-8-15 TEL078-882-8701 (代)
- 姫路支店 〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町 2-1-9 TEL079-224-8321 (代)
- 兵庫営業所 〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町 2-1-35 TEL078-682-3831 (代)
- 加古川営業所 〒675-0039 加古川市加古川町栗津字富家 4-8-2-1 TEL079-426-9500 (代)

これが労災上乘せの集大成！！ A I Uの労働災害保障プラン

ハイパー任意労災（業務災害総合保険）

もし、労災事故が発生すると！
企業経営者が「安全配慮義務」を問われます！！

「でも労災保険があるから」と安心していませんか？
それだけでは補償が足りない場合があります！！

現在ご加入のものと比較してください！！

●この保険の詳細は、弊社または取扱代理店にお問い合わせください。

例えば

- 安全な作業場を確保していた
- 管理、命令、指示は適切であった
- 適切な日程、工程で作業していた
- 想定できる危険に対して完璧な予防を行っていた

すべてYESなら
労働基準法上の災害補償
義務を果たせます。

ひとつでもNOがあると・・・
民事上の責任発生！！
訴訟問題に発展する場合があります！！



取扱代理店 株式会社ベストインシュアランス

A70-408

〒650-0033 神戸市中央区江戸町 94 番地 2 ファーストプレイスユニオンビル 5 階

TEL 078-332-7171

FAX 078-332-6887

引受保険会社 AIU保険会社 神戸支店(エイアイユーインシュアランスカンパニー)

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル 16 階

TEL 078-360-2401

FAX 078-360-9105

但馬地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
豊岡市				
白菱電気設備(株)	田中 良彦	0796-23-0195 0796-24-0905	668-0013	豊岡市中陰399-12
(有)日詰電気商会	日詰 克則	0796-22-3229 0796-22-3125	668-0032	豊岡市千代田町2-21
藤井電気(株)	藤井 久雄	0796-22-5123 0796-24-2650	668-0063	豊岡市正法寺614-1
朝来市				
田辺電気(株)	田辺 秀夫	079-672-3355 079-672-5059	669-5203	朝来市和田山町寺谷724-6
藤井電機(株)	藤井 洋平	079-676-2068 079-676-3948	669-5198	朝来市山東町末才705-1
美方郡				
山陰道路(株)	株本 尚夫	0796-82-1118 0796-82-3338	669-6747	美方郡新温泉町三谷132
(有)松本電気商会	松本 洋二	0796-82-1800 0796-82-3877	669-6702	美方郡新温泉町浜坂229-1

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

あかりを変える。未来が変わる。
LEDは東芝

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。

eco スタイル

E-CORE
イーコア
LED電球

長寿命
小電力
すぐに明るくなる
熱が少ないあかり

ミニクリプトン形
断熱材施工器具対応
光が広がるタイプ
消費電力 3.9W
LDA4L-G-E17/S (電球色)
消費電力 4.4W
LDA4N-G-E17/S (昼白色)
希望小売価格 4,830円 (税込)
E17口金

一般電球形 7.7W
光が広がるタイプ
LDABL-G 電球色
LDA8N-G 昼白色
希望小売価格 5,985円 (税込)
E26口金

ビームランプ形
150W形相当
消費電力 18.8W
LDR19L-W (電球色)
希望小売価格 15,750円 (税込)
E26口金

東芝ライテック株式会社 <http://www.tlt.co.jp/>
西日本企画担当 〒530-0017 大阪市北区角田町 8-1 (梅田阪急ビル オフィスタワー 28 階) TEL (06)6130-2300

丹波地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
篠山市				
(株)協栄電興	石田 壽和	079-552-5048 079-552-0662	669-2436	篠山市池上266
丹波市				
オーケイ電設(株)	荻野 啓一	0795-82-3750 0795-82-3691	669-3631	丹波市氷上町賀茂81
(株)酒井電気建設	酒井 信行	0795-82-3191 0795-82-3511	669-3464	丹波市氷上町石生1763-8
中佐治電工(株)	足立 和隆	0795-88-0028 0795-88-0423	669-3834	丹波市青垣町中佐治646

淡路地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
洲本市				
(株)国益電業社	向山 和義	0799-22-2401 0799-24-5285	656-0012	洲本市宇山3-4-12
(株)谷電気	谷 政智	0799-22-4697 0799-24-4615	656-0031	洲本市千草乙147
南あわじ市				
第一電工(株)	森 美耶子	0799-52-3623 0799-52-3625	656-0514	南あわじ市賀集812

大阪地区

会 員 名	代表者名	電 話 F A X	〒	所 在 地
大阪市				
日興電気工業(株)	大畑 秀樹	06-6362-9291 06-6362-6009	530-0045	大阪市北区天神西町3-18

賛助会員名簿

会員名	代表者名	電話 F A X	〒	所在地
アイホン株式会社 神戸営業所	方岡 康彦	078-577-4891 078-577-4001	652-0802	神戸市兵庫区水木通 4 - 1 - 25
因幡電機産業株式会社 近畿電設 事業部	南野 五郎	06-6781-1831 06-6781-1837	577-0066	東大阪市高井田本通 3 - 7 - 20
株式会社 S D S 姫路支店	野田 良一	079-235-7555 079-234-3675	672-8071	姫路市飾磨区構 4 - 216
カナフレックスコーポレーション 株式会社 神戸営業所	森川 益光	078-360-6173 078-360-6176	650-0044	神戸市中央区東川崎町 1 - 3 - 3
ダイキンHVACソリューション 近畿株式会社 神戸オフィス	竹下 洋文	078-262-8611 078-262-8620	651-0083	神戸市中央区浜辺通 2 - 1 - 17 三宮国際ビル別館 2 F
株式会社たけでん 第四事業部	佃 孝史	078-806-0330 078-806-0331	657-0852	神戸市灘区大石南町 1 - 4 - 24
T O A 株式会社 神戸営業所	伊藤 一郎	078-303-5625 078-303-5626	650-0046	神戸市中央区港島中町 7 - 2 - 1 本社ビル 3 F
東芝電材マーケティング 株式会社 西日本支社	山崎 正見	078-252-1233 078-252-1259	651-0087	神戸市中央区御幸通 3 - 1 - 14 三宮ビルVI
東芝ライテック株式会社 西日本支店	菊田 泰之	06-6130-2302 06-6130-1150	530-0017	大阪市北区角田町 8 - 1
日本電機産業株式会社	出水 康博	06-6346-5331 06-6341-5334	530-0003	大阪市北区堂島 1 - 3 - 18
日本電設資材株式会社 神戸支店	岡田 佳三	078-882-8701 078-882-8700	657-0852	神戸市灘区大石南町 3 - 8 - 15
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社神戸電材営業所	畑 基弘	078-333-1006 078-333-1030	650-0031	神戸市中央区東町126 住友生命神戸シルクセンタービル 4 F
福西電機株式会社 兵庫電材営業本部	田中 浩一	078-682-7411 078-682-7419	652-0833	神戸市兵庫区島上町1-4-18
株式会社ベストインシュアランス	空 正博	078-332-7171 078-332-6887	650-0033	神戸市中央区江戸町94-2 ファーストプレイスユニオンビル 5 F
三菱電機住環境システムズ 株式会社 関西支社姫路支店	松重 光郎	079-221-8860 079-221-8861	670-0965	姫路市東延末 3 - 50

株式会社 SDS

〒672-8071 姫路市飾磨区構 4 丁目216 本 社 〒105-0014 東京都港区芝 2-29 14
 TEL(079)235-7555 FAX(079)234-3675 一星芝公園ビルディング 6F
 E-mail:r.noda225@sds.swcc.co.jp TEL(03)5440-4701 FAX(03)3452-5258
 URL:http://www.swcc.co.jp/sdt/

編 集 後 記

昨年を振り返って見ますと、東日本大震災や紀伊半島を襲った台風12号等が発生し、各地に多くの犠牲者が出るなど自然の猛威を痛感させられ、暗い出来事の多い年でした。

そんな中、明るい話題もありました。

サッカーの第6回女子ワールドカップドイツ大会における日本女子代表チームの「なでしこジャパン」の活躍とその業績に対する国民栄誉賞の授与であります。確かなチームワークと不屈の精神力で、我が国サッカー競技の歴史において初めて世界一に輝く偉業をなし遂げ、東日本大震災の被災者を始めとするすべての国民に対し、困難に立ち向かう勇気とさわやかな感動を与えてくれました。このなでしこジャパンのように私達も一致団結して、この厳しい時代を乗り切っていきたいものです。

さて、本年は当協会設立30周年の節目の年になり

ます。会報発行については、少しでも内容を充実させていこうとの意気込みで編集委員一同取り組んでまいりました。前回に引き続き、特集ページを設け、さらに青年部会員の名簿を追加するなどいたしました。情報発信を一層強化して会員の皆様のお役に立てればと考えています。

今回の表紙写真は、兵庫シリーズ第4弾として篠山市の丹波古陶館を掲載させていただきました。丹波焼の古陶器のように当協会も着実に歴史と伝統を刻んで行きたいと考えています。

最後になりましたが、会報の発行にあたり、ご多忙の中ご寄稿賜りました官公庁の皆様、賛助会員の皆様並びに会員各位、また、ご協賛賜りました皆様には心から御礼を申し上げますとともに、新しい年のご発展、ご多幸を祈念申し上げます。

平成24年1月1日

第 31 号

社団法人 兵庫県電業協会

神戸市中央区琴緒町5-5-13

協和ビル4階

電 話 (078) 222-0365

F A X (078) 222-0389

URL : <http://www.hyogodengyo.jp>

E-mail: office@hyogodengyo.jp

発行責任者 大川康太郎

●●● **Fukunishi** 人に深く、技術に深く。

“専門性”から“総合力”へ
 “モノの提供”から“価値の創造”へ
 新たなステージへ飛躍する
 総合エレクトロニクス商社

4つの事業領域で培った専門性を活かし自由自在に融合する それが私たち独自の“Fスタイル”です。

<p>次世代住宅 Intelligent House</p>  <p>万全の品揃えと豊富な知識でご提案する、次世代型ホームエレクトロニクス。</p>		<p>都市設備 Urban Facilities</p>  <p>確かな経験と実績に基づくノウハウで、高度ニーズ、大型プロジェクトにも対応。</p>
<p>商業空間 Commercial Space</p>  <p>デザインから内装工事まで、総合力で空間プロデュースを実現。</p>		<p>産業技術 Industrial Technology</p>  <p>多彩な技術を熟知した商社だからこそ、「つくる能力」を発揮し新たな価値を創造。</p>

「商社」という枠組みに捕われない価値創造型ソリューションの 新しい取組み事例

パ・チャ・ポ
EVパワー・チャージ・ポイントシステム

明日のカーライフを支える新技術



特許登録済

独自の認証コントローラーにより、電気自動車への充電を安全・スムーズにおこなうシステムです。

CFE CFFプレンター40
エマルジョン燃料製造装置

ボイラー燃料の決定版!



特許登録済

A重油と水・少量の乳化剤で、長時間2層化しぬい、高品質エマルジョン燃料を製造する装置です。

福西電機株式会社

本社
 〒530-8484 大阪市北区与力町7-5
 TEL 06-6881-2924 FAX 06-6881-2935

